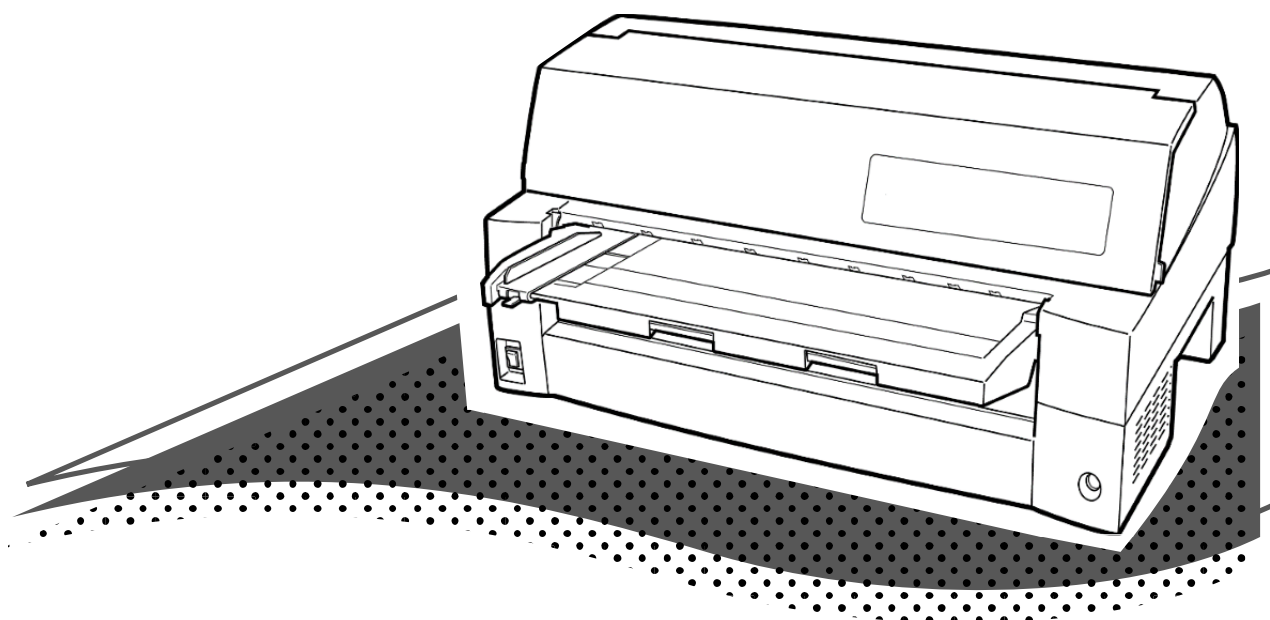


NEC

MultilImpact シリーズ

ドットインパクトプリンタ
ソフトウェアマニュアル



MultilImpact 720AEN
MultilImpact 720SEN

CBZ-039908-601-00
初版

商標について

NEC、NEC ロゴ、MultiImpact は日本電気株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

IBM、AT は米国 International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Acrobat、Acrobat Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

OS の表記について

Windows 10 は Microsoft Windows 10 Home operating system、Microsoft Windows 10 Pro operating system、および Microsoft Windows 10 Enterprise operating system、Microsoft Windows 10 Education operating system の略です。

Windows 8.1 は Microsoft Windows 8.1 operating system、Microsoft Windows 8.1 Pro operating system、および Microsoft Windows 8.1 Enterprise operating system の略です。

Windows 7 は Microsoft Windows 7 Ultimate operating system、Microsoft Windows 7 Enterprise operating system、Microsoft Windows 7 Professional operating system、および Microsoft Windows 7 Home Premium operating system、Microsoft Windows 7 Starter operating system の略です。

Windows Server 2019 は Microsoft Windows Server 2019 operating system, Datacenter、Microsoft Windows Server 2019 operating system, Standard、および Microsoft Windows Server 2019 operating system, Essentials の略です。

Windows Server 2016 は Microsoft Windows Server 2016 operating system, Datacenter、Microsoft Windows Server 2016 operating system, Standard、および Microsoft Windows Server 2016 operating system, Essentials の略です。

Windows Server 2012 R2 は Microsoft Windows Server 2012 R2 operating system, Datacenter、Microsoft Windows Server 2012 R2 operating system, Standard、および Microsoft Windows Server 2012 R2 operating system, Essentials の略です。

Windows Server 2012 は Microsoft Windows Server 2012 operating system, Datacenter、Microsoft Windows Server 2012 operating system, Standard、および Microsoft Windows Server 2012 operating system, Essentials の略です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NEC の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. 運用した結果の影響については 4 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
6. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

はじめに

このたびは NEC のプリンタをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本マニュアルは、NEC ドットインパクトプリンタ「MultiImpact 720 シリーズ」を正しくお使いいただくために使用するソフトウェアの手引き書です。

なお、ユーザーズマニュアルでは、「MultiImpact 720 シリーズ」を初めてお使いになるときの手順や日常の保守が記載されています。併せてご利用ください。

下記の MultiImpact シリーズ（以降、「本プリンタ」と呼びます）を対象としています。

- MultiImpact 720AEN
- MultiImpact 720SEN

マニュアルの構成

本マニュアルの構成は次のとおりです。

第 1 章 LAN の設定

PR-NP-905 設定ツールのインストール方法、およびプリンタの IP アドレスの設定方法と専用ポートの設定方法について説明しています。また、Web ブラウザを利用した LAN の詳細設定と、LAN ボード各部の名称と動きについて説明しています。

「PR-NP-905」とは、本プリンタに搭載されている LAN ボードの名称です。

第 2 章 プリントドライバ

本プリンタのプリンタドライバのインストール方法、およびプリンタドライバを使った印刷の手順や印刷の詳細な設定方法について説明しています。

第 3 章 リモートパネル

リモートパネルのインストール方法、およびリモートパネルの使い方や設定の変更方法について説明しています。

第 4 章 ステータスマニタ

ステータスマニタのインストール方法、およびステータスマニタの使い方や表示内容について説明しています。

第 5 章 正しく動作しないときは

導入時に想定される問題と、その対処方法について説明しています。

目次

はじめに	3
マニュアルの構成	3
目次	4
動作環境	6
基本事項	7
ユーザーアカウント制御	7
プリンタフォルダを表示するには	7
インストール／アンインストール前の注意事項	9
第1章 LAN の設定	10
PR-NP-905 設定ツールのインストール	11
PR-NP-905 設定ツールを使用した設定	13
プリンタの IP アドレス設定	13
専用ポートの設定	15
Web ブラウザを利用した LAN の詳細設定	16
Web ページの表示と設定変更手順	16
Web ブラウザ設定項目	19
LAN ボード各部の名称と動き	23
パネル部	23
DIP スイッチ部	23
第2章 プリンタドライバ	24
プリンタドライバのインストール	25
インストールを始める前に	25
インストール手順	26
アンインストール	29
印刷の手順	31
プロパティダイアログボックス	32
[全般]シート	33
[共有]シート	33
[ポート]シート	33
[詳細設定]シート	34
[色の管理]シート	34
[セキュリティ]シート	34
[デバイスの設定]シート	35
用紙サイズと印刷範囲	36
用紙サイズ	36
印刷領域	37
印刷の詳細設定	40

[印刷設定]ダイアログボックスを開く.....	40
コントロールパネルから呼び出す場合	40
アプリケーションから呼び出す場合.....	40
[印刷設定]ダイアログボックスで詳細設定を行う.....	40
[レイアウト] シート.....	41
[用紙/品質] シート.....	42
[詳細設定] ダイアログ	44
[バーコード] ダイアログ	47
印刷先の変更.....	49
ユーザー定義用紙を登録する	50
第3章 リモートパネル	51
リモートパネルのインストール.....	52
リモートパネルの使い方.....	53
リモートパネルの起動.....	53
リモートパネルのメニュー／ボタン.....	55
リモートパネル設定項目	58
第4章 ステータスマニタ.....	61
ステータスマニタのインストール.....	62
ステータスマニタの使い方	63
ステータスマニタの起動.....	63
ステータスの表示ウィンドウ.....	64
ステータス状態表示一覧表.....	66
第5章 正しく動作しないときは.....	68

動作環境

本ソフトウェアは、以下の環境でご利用になれます。

◆ ハードウェア

次のいずれかのインタフェースを備え、対象のオペレーティングシステム(OS)が動作するパーソナルコンピュータ。

- USB インタフェース
- LAN インタフェース
- パラレルインタフェース

◆ オペレーティングシステム (OS)

- Microsoft Windows 10 Home 日本語版 (*1)
- Microsoft Windows 10 Pro 日本語版 (*1)
- Microsoft Windows 10 Enterprise 日本語版 (*1)
- Microsoft Windows 10 Education 日本語版 (*1)
- Microsoft Windows 8.1 日本語版 (*2)
- Microsoft Windows 8.1 Pro 日本語版 (*2)
- Microsoft Windows 8.1 Enterprise 日本語版 (*2)
- Microsoft Windows 7 Ultimate 日本語版 (*3)
- Microsoft Windows 7 Enterprise 日本語版 (*3)
- Microsoft Windows 7 Professional 日本語版 (*3)
- Microsoft Windows 7 Home Premium 日本語版 (*3)
- Microsoft Windows 7 Starter 日本語版 (*3)
- Microsoft Windows Server 2019, Datacenter 日本語版 (*4)
- Microsoft Windows Server 2019, Standard 日本語版 (*4)
- Microsoft Windows Server 2019, Essentials 日本語版 (*4)
- Microsoft Windows Server 2016, Datacenter 日本語版 (*5)
- Microsoft Windows Server 2016, Standard 日本語版 (*5)
- Microsoft Windows Server 2016, Essentials 日本語版 (*5)
- Microsoft Windows Server 2012, R2 Datacenter 日本語版 (*6)
- Microsoft Windows Server 2012, R2 Standard 日本語版 (*6)
- Microsoft Windows Server 2012, R2 Essentials 日本語版 (*6)
- Microsoft Windows Server 2012, Datacenter 日本語版 (*6)
- Microsoft Windows Server 2012, Standard 日本語版 (*6)
- Microsoft Windows Server 2012, Essentials 日本語版 (*6)

なお、本説明書では、各製品を以下のように略記しています。

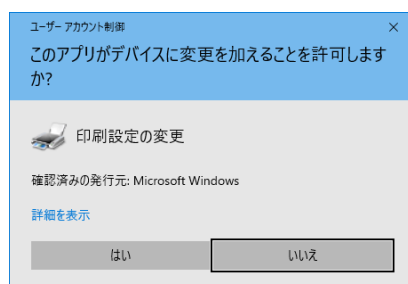
- *1 : Windows 10
- *2 : Windows 8.1
- *3 : Windows 7
- *4 : Windows Server 2019
- *5 : Windows Server 2016
- *6 : Windows Server 2012

基本事項

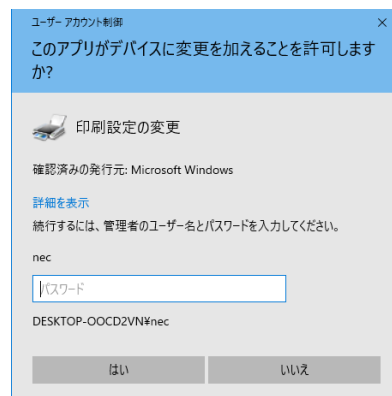
Windows の基本事項について説明します。

ユーザーアカウント制御

Windows の利用者は「管理者」と「標準ユーザー」のいずれかのアカウントを持っています。「標準ユーザー」でプリンタのプロパティなどシステムの変更に関わる操作をする場合は、管理者権限を持ったパスワードの入力を要求されます。また、「管理者」のアカウントを持っていてもこれらの操作をする前に確認のメッセージが表示されます。表示されたメッセージに従って管理者のパスワードの入力または「はい」（または「続行」）の操作をして先に進んでください。



コンピュータの管理者の場合の表示例



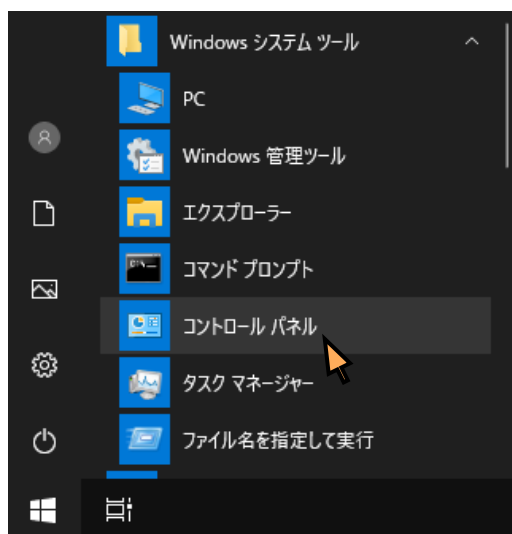
標準ユーザーの場合の表示例

プリンタフォルダを表示するには

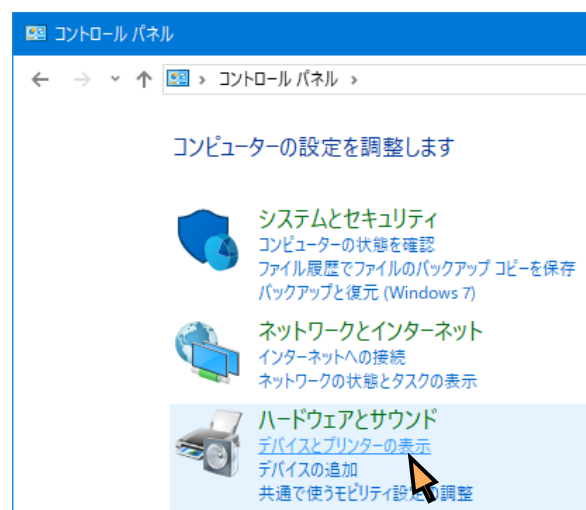
プリンタを表示する方法は OS によって異なります。

Windows 10 の場合

- ① [スタート] から [Windows システムツール] - [コントロールパネル] をクリックします。

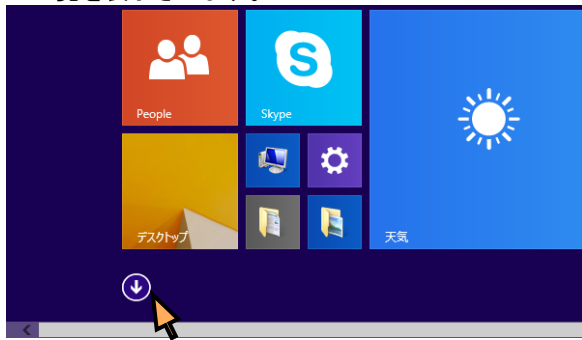


- ② [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。



Windows 8.1 の場合

- ① タイル画面下部の [↓] をクリックし、アプリ一覧を表示させます。



- ② [Windows システムツール] - [コントロールパネル] をクリックします。

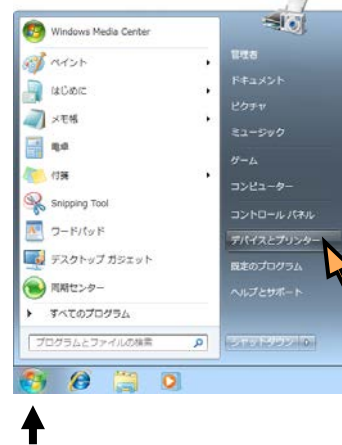


- ③ [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。



Windows 7 の場合

- ① デスクトップ画面左下の Windows ロゴがついたボタンをクリックします。
- ② [デバイスとプリンター] をクリックします。



インストール／アンインストール前の注意事項

本プリンタに添付のソフトウェア CD-ROM に収録されたプリンタソフトウェアのインストールまたはアンインストールをする前の注意事項について説明します。

基本的な操作およびセットアップについては各 OS に添付のマニュアルなどをご覧ください。

- 他のユーザーがお使いのコンピュータにログオンしている場合、プリンタソフトウェアのインストールは行えません。各ユーザーに切り替えてログオフしてからインストールを行ってください。
- プリンタソフトウェアをインストール（またはアンインストール）する場合は、実施者が「コンピュータの管理者」である必要があります。
- プリンタドライバをインストール（またはアンインストール）する前にすべてのアプリケーションを終了させてください。
- プリンタドライバは印刷中にアンインストールを行うことはできません。印刷が終了してからアンインストールを行ってください。

1

LAN の設定

LAN の設定は、PR-NP-905 設定ツールを使用して、IP アドレスとプリンタドライバが使用する専用ポートの設定を行います。

IP アドレス設定後は、Web ブラウザを利用して LAN の詳細設定を行うことができます。

「PR-NP-905」とは、本プリンタに搭載されている LAN ボードの名称です。

**チェック**

事前に、パソコンのインターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) が正しく設定されていることを確認してください。
インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) の確認方法や設定方法は、ネットワーク管理者にご確認ください。

本章では Windows 10 を例にインストール手順を説明します。

PR-NP-905 設定ツールのインストール

① コンピュータの電源を ON にし、Windows 10 を起動します。

② ソフトウェア CD-ROM をドライブにセットし、SETUP.EXE を実行します。

「選択して、このディスクに対して行う操作を選んでください。」の画面が表示されます。このメッセージをクリックして表示される画面で、[SETUP.EXE の実行] をクリックします。

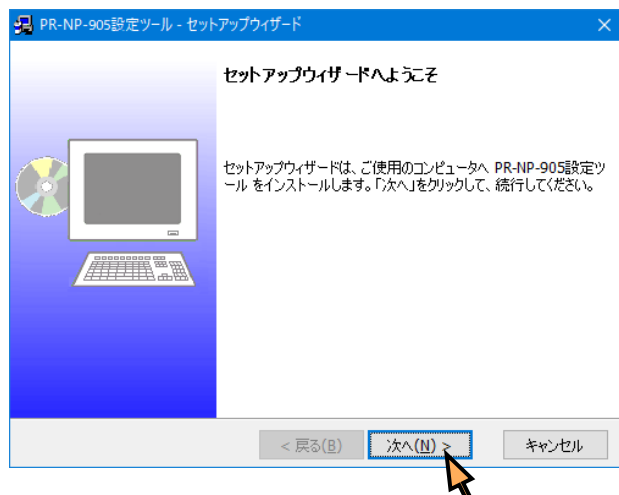
画面が表示されないときは、「エクスプローラー」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある SETUP.EXE をダブルクリックしてください。

③ ユーザーアカウント制御ダイアログが表示されます。[はい] をクリックします。

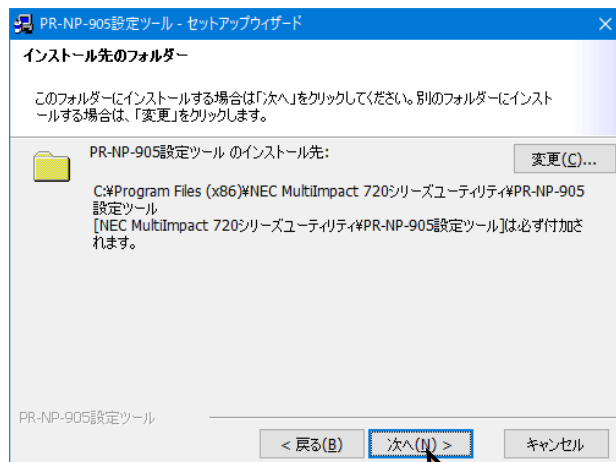
④ [PR-NP-905 設定ツールのインストール] をクリックします。



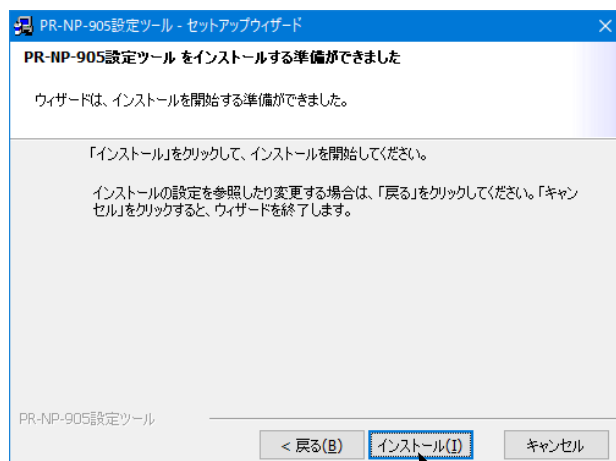
⑤ PR-NP-905 設定ツールのセットアップウィザードが起動します。[次へ] をクリックします。



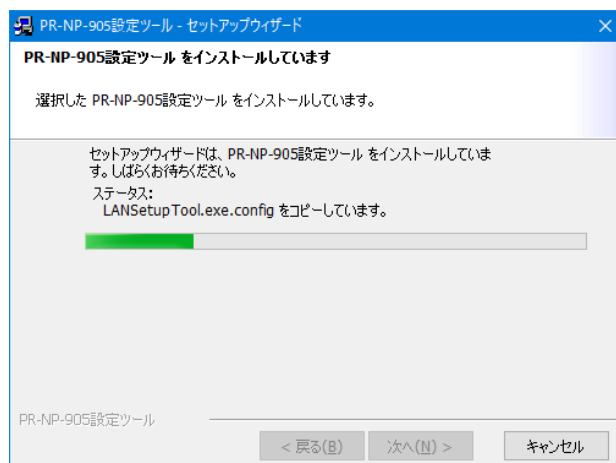
⑥ インストール先のフォルダーを選択し、[次へ] をクリックします。



⑦ 下記画面が表示されます。[インストール] をクリックします。



⑧ インストール中の画面が表示されます。
インストールが完了するまでお待ちください。



⑨ 完了画面が表示されます。[完了]をクリックします。

これで、PR-NP-905 設定ツールのインストールは完了です。



PR-NP-905 設定ツールを使用した設定

プリンタの IP アドレス設定

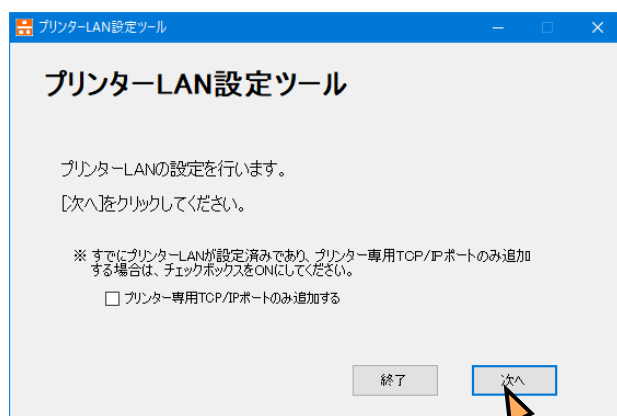
① プリンタの電源を ON にします。

② スタートメニューから PR-NP-905 設定ツールを起動します

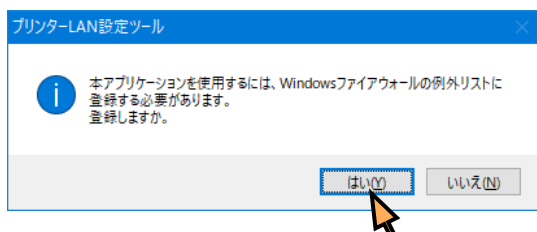


③ ユーザーアカウント制御ダイアログが表示されます。[はい]をクリックします。

④ プリンター-LAN 設定ツールが表示されます。[次へ]をクリックします。

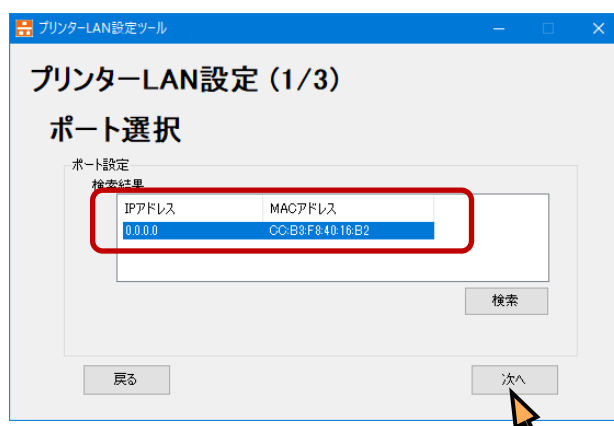


⑤ Windows ファイアウォールの例外登録確認メッセージが表示されますので、[はい(Y)]をクリックします。



⑥ 検索結果が表示されます。設定を行うプリンタを選択し、[次へ]をクリックします。

- ・プリンタが見つからないときは、再度 [検索] ボタンをクリックします。
- ・MAC アドレスは LAN ボードに貼り付けられているシールから確認できます。
- ・DHCP サーバーが無い環境で、[DHCP=有効] に設定されてあるプリンタを検索したときは、IP アドレスに “0.0.0.0” と表示されます。



⑦ DHCP 有効/無効、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。

[DHCP=有効] のとき：

[次へ] をクリックします。IP アドレスは DHCP サーバーから自動取得します。



【DHCP=無効】のとき：

お使いの環境に合わせ、手動で IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定し、[次へ] をクリックします。

プリンター-LAN設定ツール

プリンター-LAN設定 (2/3)

LAN設定

DHCP 無効

IPアドレス 192 . 168 . 0 . 20

サブネットマスク 255 . 255 . 255 . 0

ゲートウェイ 192 . 168 . 0 . 254

戻る 次へ

⑧ 設定内容を確認して [実行] をクリックします。

【DHCP=有効】のとき：

プリンター-LAN設定ツール

プリンター-LAN設定 (3/3)

LAN設定確認

DHCP 有効

戻る 実行

【DHCP=無効】のとき：

プリンター-LAN設定ツール

プリンター-LAN設定 (3/3)

LAN設定確認

DHCP 無効

IPアドレス 192.168.0.20

サブネットマスク 255.255.255.0

ゲートウェイ 192.168.0.254

戻る 実行

⑨ root パスワード入力し、[OK] をクリックします。

出荷時の初期設定ではパスワードは設定していません。

プリンター-LAN設定ツール

rootパスワードを入力してください

パスワード

* 工場出荷時設定の場合は、パスワードは設定されていませんので、ブランクのままとしてください。

OK

⑩ 下記画面が表示されたら設定完了です。続けて専用ポートの設定を行う場合は、[次へ] をクリックします。設定を終了する場合は、[終了] をクリックします。

プリンター-LAN設定ツール

プリンター-LAN設定

設定完了しました

続けて、TCP/IPポートの追加を行います。
[次へ]をクリックしてください。

注意
Windowsドライバをご使用の際は、
必要に応じてTCP/IPポートの追加を行ってください。

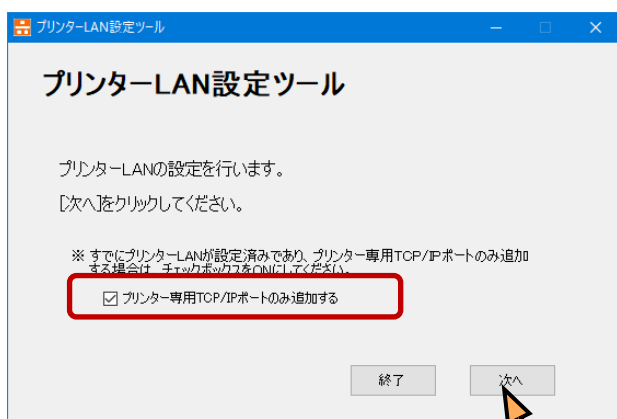
終了 次へ

専用ポートの設定

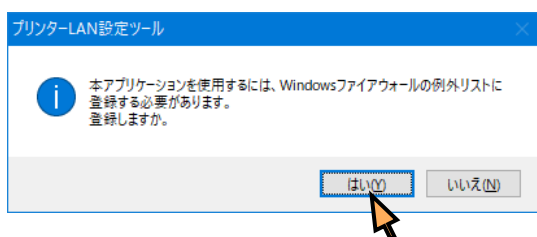
- ① プリンタの電源を ON にします。
- ② スタートメニューから PR-NP-905 設定ツールを起動します



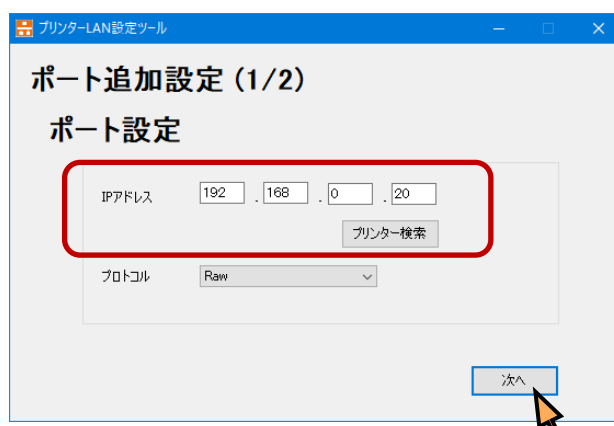
- ③ ユーザーアカウント制御ダイアログが表示されます。[はい]をクリックします。
- ④ プリンターLAN 設定ツールが表示されます。[プリンター専用 TCP/IP ポートのみ追加する] にチェックを付けて、[次へ]をクリックします。



- ⑤ Windows ファイアウォールの例外登録確認メッセージが表示されますので、[はい(Y)]をクリックします。



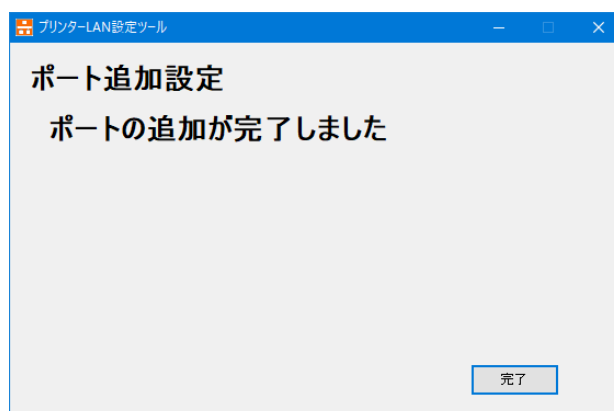
- ⑥ IP アドレスを入力して、[次へ] をクリックします。
[プリンター検索] を使用して、IP アドレスを指定することもできます。
・ IP アドレスの設定に続けて専用ポートの設定を行ったときは、本画面から表示されます。



- ⑦ 設定内容を確認して、[実行] をクリックします。



- ⑧ 下記画面が表示されたら、設定完了です。[完了] をクリックします。



Web ブラウザを利用した LAN の詳細設定

本プリンタは Web ブラウザを利用して LAN の詳細な設定を行うことができます。

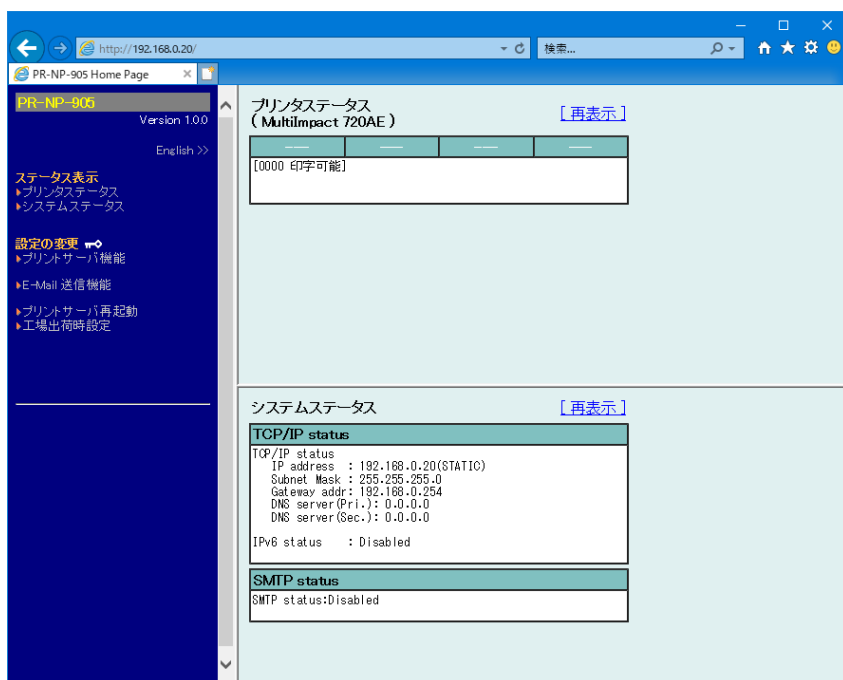
Web ブラウザからは、プリンタのステータスや LAN の設定情報を確認することもできます。

Web ページの表示と設定変更手順

① プリンタに設定された IP アドレスを Web ブラウザのアドレスバーに入力し、Web ページを表示します。

- Web ブラウザを利用する場合、事前にプリンタに IP アドレスが設定されている必要があります。

例 : `http://192.168.0.20`



- ② 「設定の変更」から設定したい項目をクリックすると、設定 Web 画面が表示されます。
設定変更が必要な項目があれば設定値を入力し、[設定更新] ボタンをクリックします。

例：[プリントサーバ機能] → [TCP/IP]

PR-NP-905 Home Page

Version 1.0.0

English >>

ステータス表示
・プリンタステータス
・システムステータス

設定の変更
・プリントサーバ機能
・E-Mail 送信機能
・プリントサーバ再起動
・工場出荷時設定

[General] [TCP/IP] [SNMP]

TCP/IP設定 [help]

項目名	設定値	設定できる値
DHCP	DISABLE	一覧より選択
IP アドレス	192.168.0.20	IPアドレス
サブネットマスク	255.255.255.0	IPアドレス
デフォルトゲートウェイ	192.168.0.254	IPアドレス
IPv6機能	DISABLE	一覧より選択
タイムアウト	120	0 - 600000の整数値

DNS設定

項目名	設定値	設定できる値
プライマリサーバ	0.0.0.0	IPアドレス
セカンダリサーバ	0.0.0.0	IPアドレス

IP Filter設定

項目名	設定値	設定できる値
動作モード	DENY	一覧より選択
フィルタ #0 開始アドレス	0.0.0.0	IPアドレス
フィルタ #0 終了アドレス	0.0.0.0	IPアドレス
フィルタ #1 開始アドレス	0.0.0.0	IPアドレス
フィルタ #1 終了アドレス	0.0.0.0	IPアドレス
フィルタ #2 開始アドレス	0.0.0.0	IPアドレス
フィルタ #2 終了アドレス	0.0.0.0	IPアドレス
フィルタ #3 開始アドレス	0.0.0.0	IPアドレス
フィルタ #3 終了アドレス	0.0.0.0	IPアドレス

設定更新 初期値に戻す

＜補足＞
新しい設定を有効にするためには、プリントサーバの再起動が必要です。
「設定更新」ボタンをクリック後に、左側の「プリントサーバ再起動」をクリックしてください。

チェック

- 設定変更の項目に移るとき、ユーザー名を入力する画面が表示されたときは、「root」を入力してください。
パスワードは、出荷時の初期設定の場合は設定されていませんので、空白のままで [OK] をクリックしてください。

Windows セキュリティ

iexplore.exe

サーバー 192.168.0.20 がユーザー名とパスワードを要求しています。サーバーの報告によると、これは PRINTER からの要求です。

警告: ユーザー名とパスワードは、セキュリティで保護されていない接続で基本認証を使用して送信されます。

root

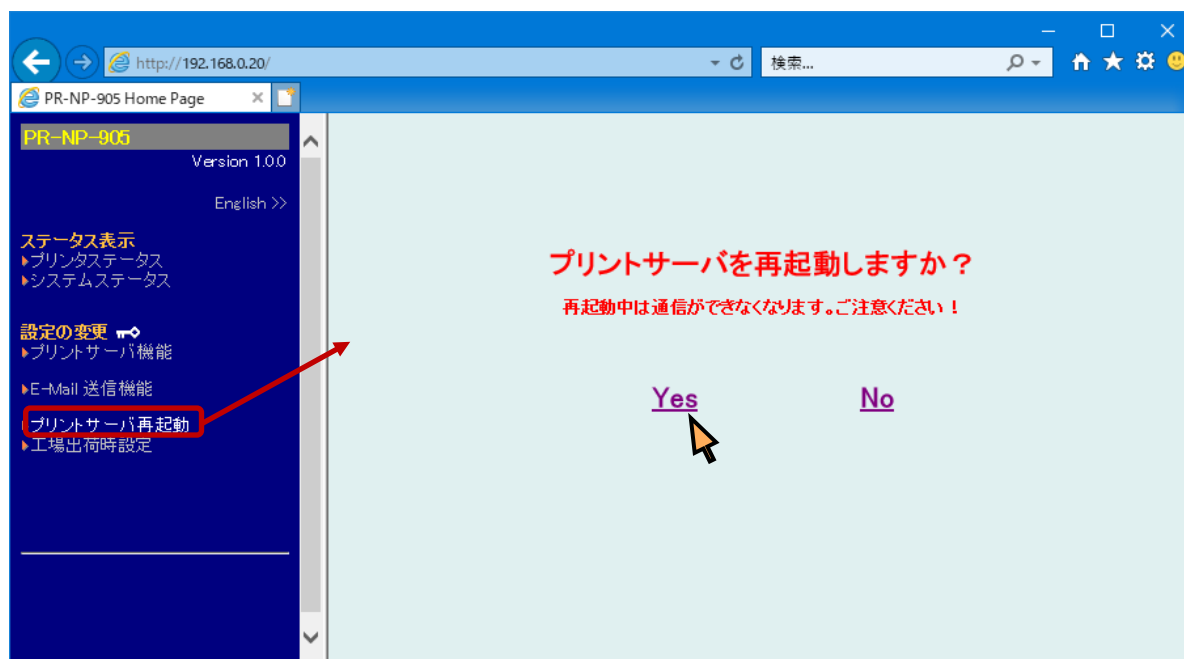
パスワード

☐ 資格情報を記憶する

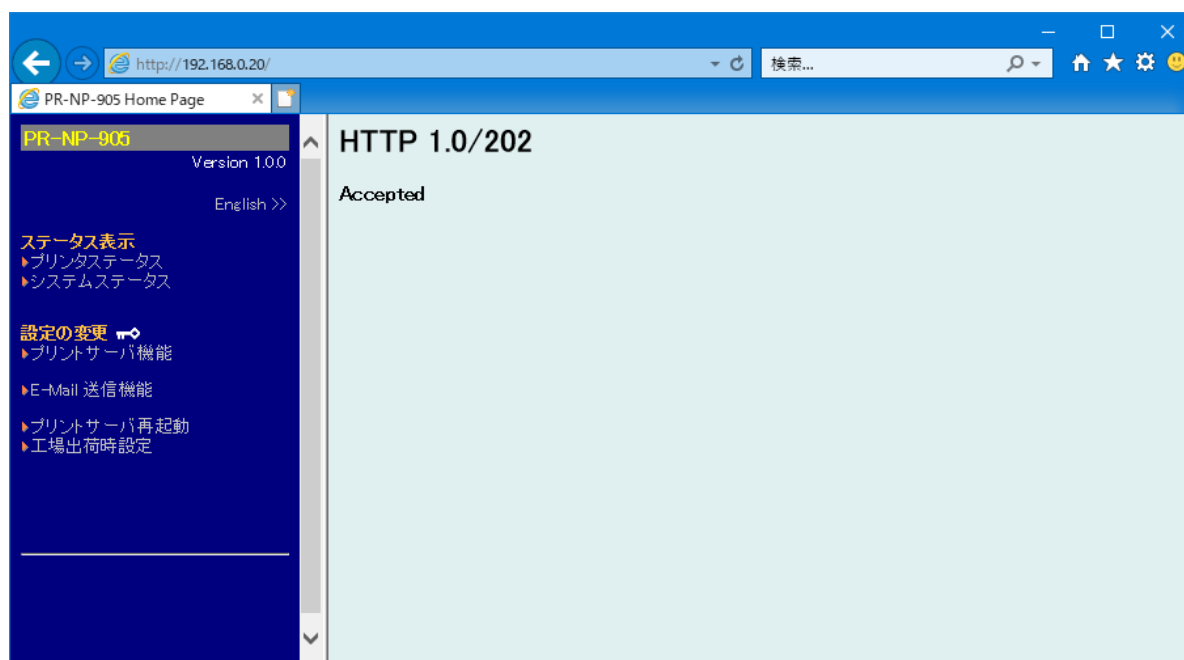
OK キャンセル

- 「工場出荷時設定」をクリックすると、すべての設定内容を工場出荷時の設定に戻します。初期化後は「プリントサーバ再起動」を実行してください。

③ 「設定更新」をクリックした後は、左側の「プリントサーバ再起動」を実行し、「Yes」をクリックします。



再起動を実行すると下記画面が表示され、変更した設定がプリンタに反映されます。



Web ブラウザ設定項目

・ [プリントサーバ機能] — [General] 一般設定

ネットワークの一般的な設定を行います。

項目	設定内容	工場出荷設定
root パスワード変更	本製品の管理者パスワードをASCII文字列で設定します。 このパスワードは、Webページにて設定変更の認証パスワードとして使用されます。	なし
LAN インターフェイス	物理ネットワークの種別を設定します。 通常はAUTOのまま使用してください。本製品の電源投入時に本製品が接続されるHUBのLINKランプが点灯しない場合は、この設定を接続HUBのネットワーク種別に変更します。	AUTO
プリンタ名	プリンタ名を設定します。 (未設定時は、搭載プリンタ名を仮表示します)。	なし

・ [プリントサーバ機能] — [TCP/IP] TCP/IP 設定

IPアドレスなど、TCP/IPプロトコルを使用するための設定を行います。

項目	設定内容	工場出荷設定
DHCP	DHCPプロトコルの動作を禁止／許可します。 DHCPは起動時に、DHCPサーバよりIPアドレスの取得を行うプロトコルです。本製品のIPアドレスをDHCPによって設定するためには、サブネットワーク内に適切に設定されたDHCPサーバが稼動していなければなりません。	ENABLE
IP アドレス	本製品のIPアドレスを設定します。 設定値は、10進数4桁で[xxx. xxx. xxx. xxx]の形式で設定します。	0.0.0.0
サブネットマスク	本製品のサブネットマスクを設定します。 設定値は、10進数4桁で[xxx. xxx. xxx. xxx]の形式で設定します。[0.0.0.0]を設定するとこの項目は無効になり、IPアドレスに応じたサブネットマスクが自動的に使用されます。	0.0.0.0
デフォルトゲートウェイ	本製品のゲートウェイの IP アドレスを設定します。 設定値は、10進数4桁で[xxx. xxx. xxx. xxx]の形式で設定します。ゲートウェイは本製品と同じサブネットワーク内に存在しなければなりません。[0.0.0.0]を設定するとこの項目は無効になります。	0.0.0.0
IPv6機能	IPv6機能の動作を禁止／許可します。	DISABLE
タイムアウト	アイドル状態の通信に対するタイムアウト値を秒単位で設定します。 [0]を設定するとこの項目は無効になります。	120

・ [プリントサーバ機能] － [TCP/IP] DNS 設定

DNSサーバの設定を行います。

項目	設定内容	工場出荷設定
プライマリサーバ	DNSサーバ(プライマリ)のアドレスを設定します。 SMTPサーバ名をIPアドレスで直接設定する場合は、設定する必要はありません。設定値は、10進数4桁で [xxx. xxx. xxx. xxx] の形式で設定します。	0.0.0.0
セカンダリサーバ	物理ネットワークの種別を設定します。 通常はAUTOのまま使用してください。本製品の電源投入時に本製品が接続されるHUBのLINKランプが点灯しない場合は、この設定を接続HUBのネットワーク種別に変更します。	0.0.0.0

・ [プリントサーバ機能] － [TCP/IP] IP Filter 設定

IPフィルタリングの設定を行います。

項目	設定内容	工場出荷設定
動作モード	フィルタの動作を設定します。 設定には[allow]と[deny]があり、[allow]にすると設定したIPアドレス範囲からのみデータを受けとります。[deny]にすると設定したIPアドレス範囲からのデータを受けとりません。	DENY
フィルタ#0 開始アドレス フィルタ#1 開始アドレス フィルタ#2 開始アドレス フィルタ#3 開始アドレス	IPフィルタの先頭アドレスを設定します。 設定値は、10進数4桁で [xxx. xxx. xxx. xxx] の形式で設定します。	0.0.0.0
フィルタ#0 終了アドレス フィルタ#1 終了アドレス フィルタ#2 終了アドレス フィルタ#3 終了アドレス	IPフィルタの終了アドレスを設定します。 設定値は、10進数4桁で [xxx. xxx. xxx. xxx] の形式で設定します。	0.0.0.0

・ [プリントサーバ機能] — [SNMP]

SNMPの設定を行います。

項目	設定内容	工場出荷設定
認証コミュニティ名	SNMPの認証コミュニティ名を設定します。 このコミュニティ名はSNMP Set Requestを受け付けるときに認証されます。 ※認証コミュニティ名は、「●●●●●●●●」と表示されますが、工場出荷時の設定は「public」です。	public
Trapコミュニティ名	SNMPのトラップコミュニティを設定します。 このコミュニティ名は本製品がトラップを発行するときに使用されます。	public
Trap通知先アドレス	SNMPトラップの送信先IPアドレスを設定します。 設定値は、10進数4桁で [xxx. xxx. xxx. xxx] の形式で設定します。[0. 0. 0. 0] を設定するとこの項目は無効になり、いかなる場合でもトラップは発行されなくなります。	0. 0. 0. 0
SysContact	MIB-IIオブジェクトのSysContactを設定します。 通常は管理者のメールアドレスを設定しておきます。	なし
SysName	MIB-IIオブジェクトのSysNameを設定します。 通常は本製品のホスト名またはドメイン名を設定しておきます。	なし
SysLocation	MIB-IIオブジェクトのSysLocationを設定します。 通常は本製品のある場所を設定しておきます。	なし
EnableAuthenTrap	MIB-IIオブジェクトのEnableAuthenTrapを許可(1)/禁止(2)で設定します。 許可に設定すると、SNMPでコミュニティ違反が発生した時、SNMPトラップが[Trap通知先アドレス]で設定したIPアドレスに向けて発信されます。	2
詳細ステータス	プリンタからの詳細なステータスをHost Resource MIBに反映します。	ON

・ [E-Mail 送信機能] — [基本設定]

SMTPの設定を行います。

項目	設定内容	工場出荷設定
SMTPプロトコルを使用する	SMTPプロトコルの動作を禁止／許可します。 動作禁止にするとE-Mailの送信機能が停止します。	DISABLE
SMTPサーバ名	SMTPサーバのホスト名を設定します。 ホスト名にはドメイン名またはIPアドレスを入力します。 ドメイン名を使用する場合はDNSサーバの設定が必要です。	なし
SMTPポート番号	SMTPポート番号を設定します。 通常はデフォルト値(25)のまま使用してください。	25
送信元アドレス	送信元のアドレスを設定します。 通常はネットワーク管理者のメールアドレスを設定します。	なし
署名1行目 署名2行目 署名3行目 署名4行目	メールの送信メッセージの文末に付加する文字列の内容を設定します	“-----” “ PR-NP-905” “[CC:B3:F8:XX:XX:XX]” “-----”

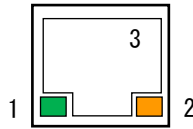
・ [E-Mail 送信機能] — [送信アドレス 1] ／ [送信アドレス 2]

送信条件の設定を行います。

項目	設定内容	工場出荷設定
送信先アドレス	送信先のメールアドレスを設定します。	なし
チェック間隔(分)	イベントの記録があるかを一定間隔でチェックします。 この間隔を分単位で設定します。この間隔内に1つ以上のイベントが発生した場合、その記録をまとめて送信します。	10
オフライン	メールにて通知するプリンタステータスをON/OFFで設定します。	OFF
紙切れ		OFF
プリンタ異常		OFF

LAN ボード各部の名称と動き

パネル部



- (1) S (Speed) LED (緑)
接続先を 100BASE-TX と認識したときに点灯します。
未接続のとき又は接続先を 10BASE-T と認識したときに消灯します。
- (2) L/A (Link/Act) LED (橙)
100BASE-TX 又は 10BASE-T でリンクが確定したときに点灯します。
パケットを受信したときに点滅します。
- (3) ネットワークポート (10BASE-T/100BASE-TX 自動認識)
ネットワークケーブル (100BASE-TX 環境では、カテゴリ-5 以上) を接続します。

DIP スイッチ部



- (1) SW1 (DHCP切り替え)
OFF のとき DHCP が有効、ON のとき DHCP が無効になります。
DHCP “無効” (ON) のときの IP アドレス初期値は、192. 168. 169. 168、サブネットマスクは、255. 255. 255. 0 になります。
- (2) SW2 (設定初期化)
SW2 を ON にしてプリンタの電源を投入すると、LAN の設定を工場出荷時の設定に初期化します。
SW2 を ON にしてプリンタの電源を投入してから、30 秒経過するまでプリンタの電源を ON のままにし、30 秒経過後にプリンタの電源を OFF してください。プリンタの電源を OFF した後は、SW2 も OFF に戻してください。
- (3) SW3 (設定印字)
SW3 を ON にすると、IP アドレスやサブネットマスクなどの LAN 設定情報を印字します。
LAN 設定情報の印字が終了したら、SW3 は OFF に戻してください。
- (4) SW4 (予備)

2

プリンタドライバ

プリンタドライバは、本プリンタで印刷を行うために必要なソフトウェアです。ここでは以下について説明します。

- ・ プリンタドライバのインストール
- ・ 印刷の手順
- ・ プロパティダイアログボックス
- ・ 印刷の詳細設定
- ・ 印刷先の変更
- ・ ユーザー定義用紙を登録する

プリンタドライバのインストール

装置に添付の「ソフトウェア CD-ROM」を使ってお使いになるコンピュータにソフトウェアをインストールする手順およびアンインストールをする手順について説明します。

お使いのコンピュータには次の Windows OS がインストールされている必要があります。

- Windows 10
- Windows 8.1
- Windows 7
- Windows Server 2019
- Windows Server 2016
- Windows Server 2012

インストールを始める前に

● プリンタドライバをバージョンアップする場合

既に NEC MultiImpact 720AE、または NEC MultiImpact 720SE のプリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップしてください。

削除方法は、「アンインストール」(29 ページ) を参照してください。

インストール手順

ここでは Windows 10 で MultiImpact 720AEN を例にしたインストール手順を説明します。MultiImpact 720SEN をお使いの方は読み替えてください。

- ① コンピュータの電源を ON にし、Windows 10 を起動します。

- ② ソフトウェア CD-ROM をドライブにセットし、SETUP.EXE を実行します。

「選択して、このディスクに対して行う操作を選んでください。」の画面が表示されます。このメッセージをクリックして表示される画面で、[SETUP.EXE の実行] をクリックします。

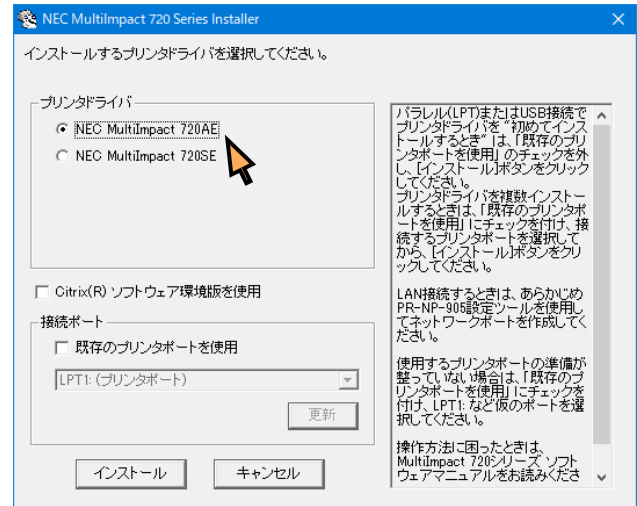
画面が表示されないときは、「エクスプローラー」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある SETUP.EXE をダブルクリックしてください。

- ③ ユーザーアカウント制御ダイアログが表示されます。[はい] をクリックします。

- ④ [プリンタドライバのインストール] をクリックします。



- ⑤ 「インストールするプリンタドライバを選択してください。」の画面で、使用するプリンタドライバを選択します。

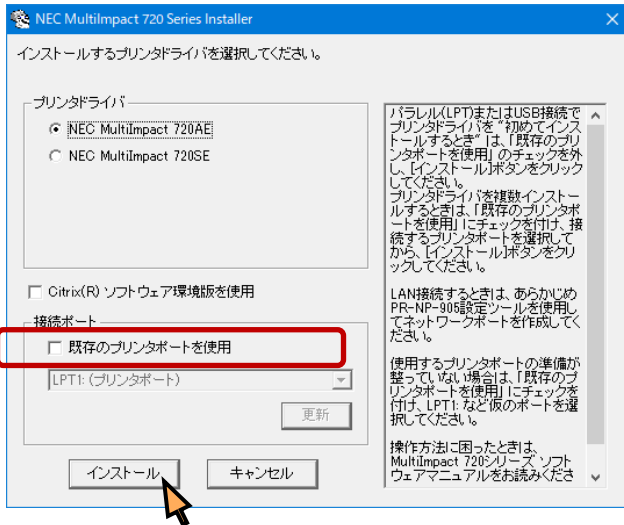


✓ チェック

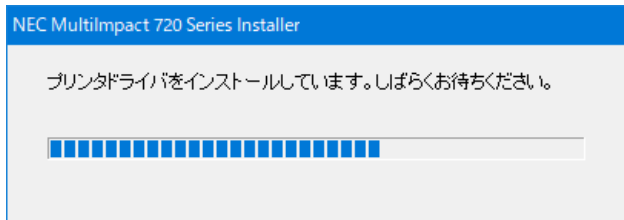
- ・ Citrix®ソフトウェア環境版のプリンタドライバを使用するときは、「Citrix®ソフトウェア環境版を使用」にチェックを付けます。

- ・ パラレル、または USB 接続で、プリンタドライバを初めてインストールするとき
→ 手順⑥へ
- ・ LAN 接続するとき
→ 手順⑬へ
- ・ 給紙口や用紙サイズ別など、プリンタドライバを複数インストールして切り替えて使用するとき
→ 手順⑬へ

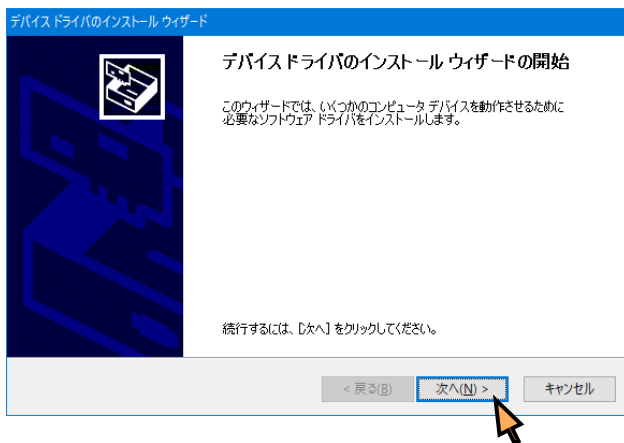
- ⑥ [既存のプリンタポートを使用]のチェックが外れていることを確認し、[インストール]をクリックします。



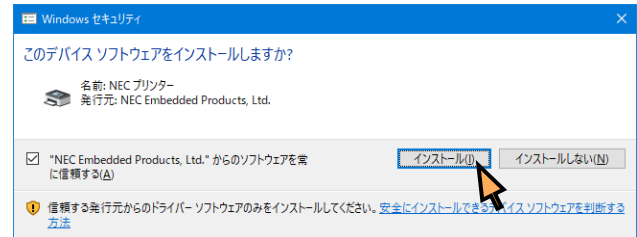
- ⑦ インストール中を示す画面が表示されます。
手順 8 の画面が表示されるまでお待ちください。



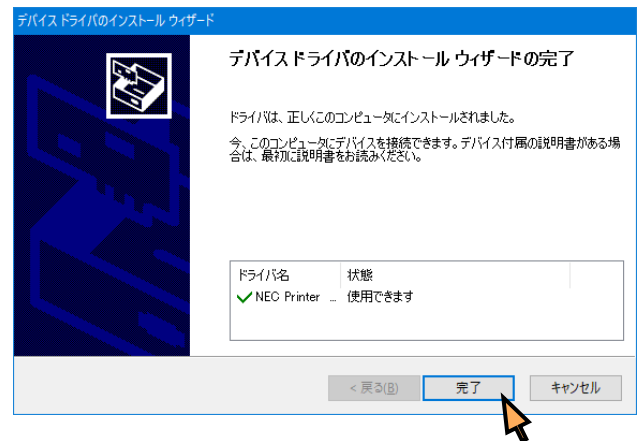
- ⑧ [次へ] をクリックします。



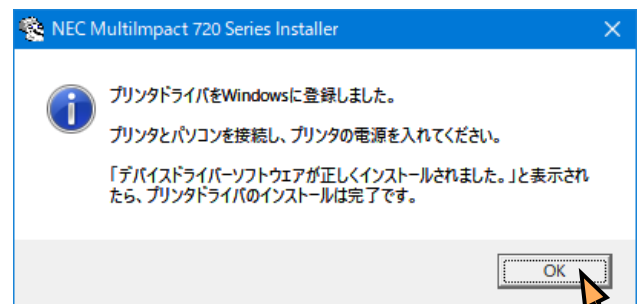
- ⑨ 次の画面が表示された場合は、[インストール] をクリックします。



- ⑩ [完了] をクリックします。



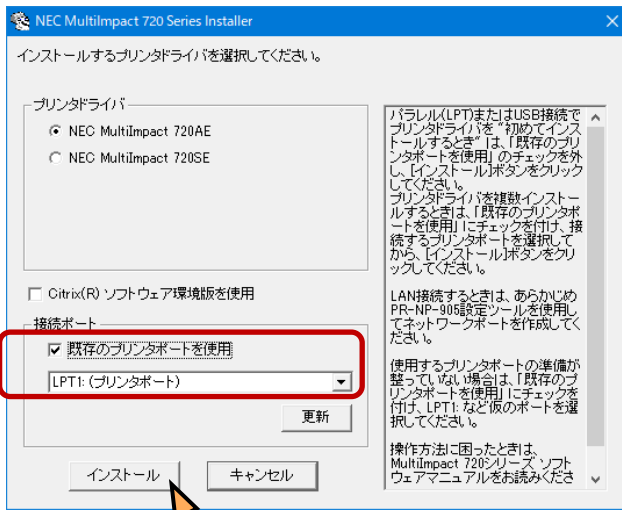
- ⑪ [OK] をクリックします。



- ⑫ プリンタとパソコンを接続して、プリンタの電源を入れます。

→ 手順⑬へ

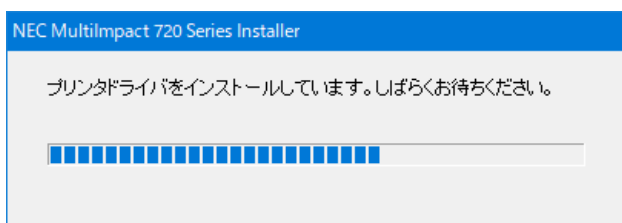
- ⑬ [既存のプリンタポートを使用]にチェックを付け、プリンタと接続するインタフェースを一覧から選択し、[インストール] をクリックします。



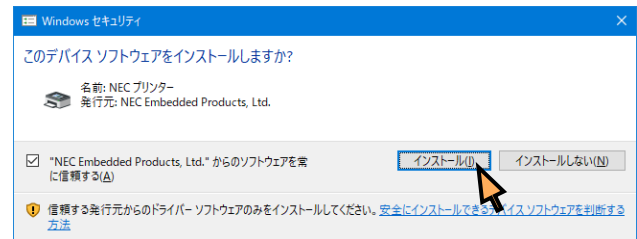
チェック

- USB インタフェースの場合は、「USBxxx」を選択します。複数の USB ポートが表示される場合は、番号が大きいポートを選択してください。
- パラレルインタフェースの場合は、「LPTx」を選択します。
- LAN インタフェースの場合は、あらかじめ設定した NDSP TCP/IP Port を選択します。
- 使用するポートの準備が整っていないときは、仮のポートとして、LPT1: プリンタポートなどを選択してください。

- ⑭ インストール中を示す画面が表示されます。

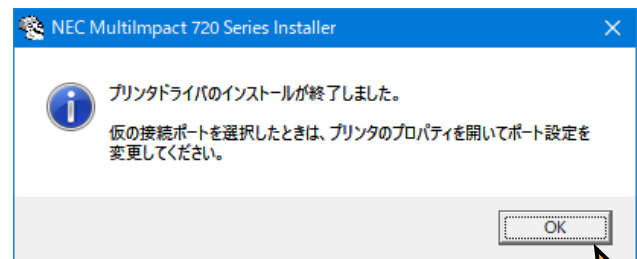


- ⑮ 次の画面が表示された場合は、[インストール] をクリックします。



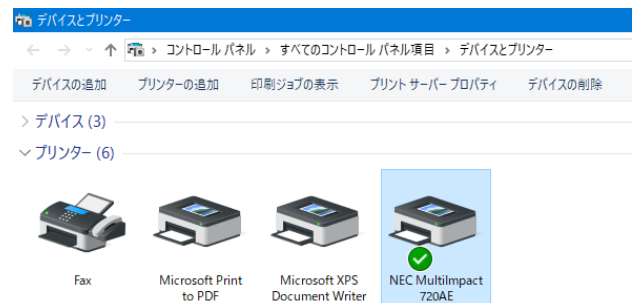
- ⑯ [OK] をクリックします。

→ 手順⑰へ



- ⑰ [コントロールパネル] から [デバイスとプリンター] を開きます。

インストールが完了すると、追加したプリンタが [デバイスとプリンター] に表示されます。

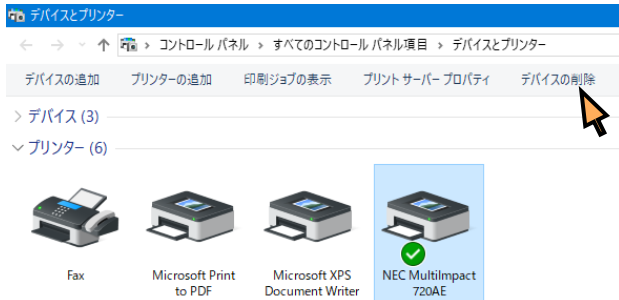


アンインストール

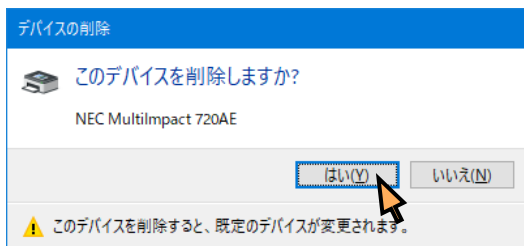
ここでは Windows 10 で Multi Impact 720AEN を例にしたアンインストール手順を説明します。Multi Impact 720SEN をお使いの方は読み替えてください。

① 「デバイスとプリンター」フォルダを開きます。

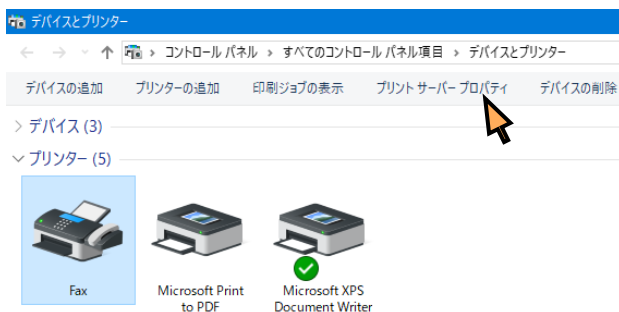
② 「デバイスとプリンター」内にある「NEC Multi Impact 720AE」を選択し、「デバイスの削除」を選択します。



③ 「このデバイスを削除しますか？ NEC Multi Impact 720AE」画面が表示されますので「はい」を選択します。

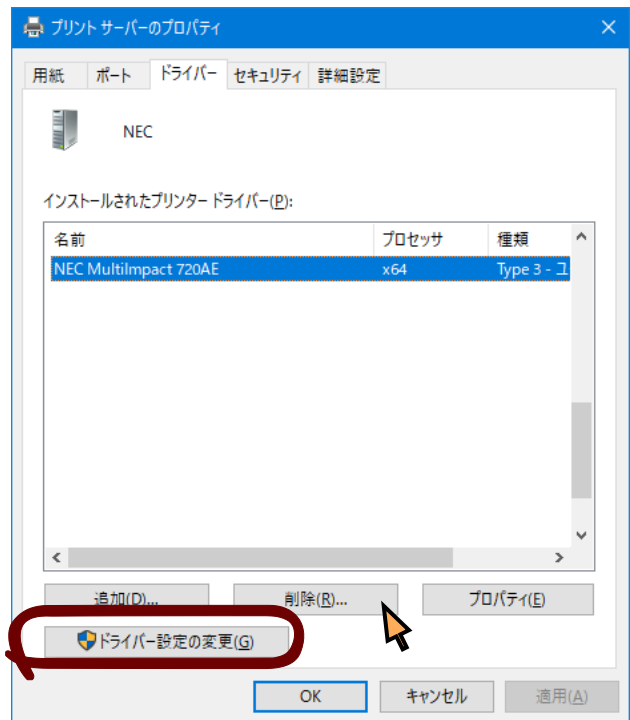


④ 「デバイスとプリンター」フォルダ内の残っているプリンタかFAXを選択し、「プリントサーバー プロパティ」を選択します。

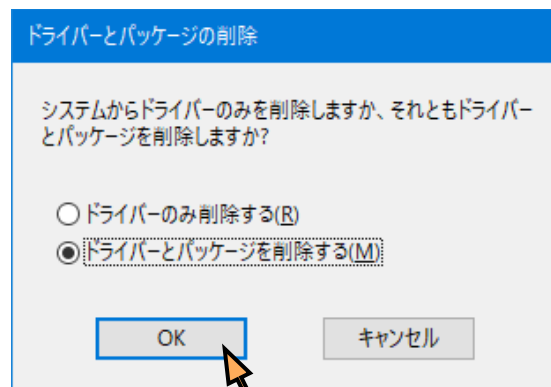


⑤ 「ドライバー」タブをクリックし、「インストールされたプリンター ドライバー」リストから「NEC Multi Impact 720AE」を選択し、「削除」ボタンをクリックします。

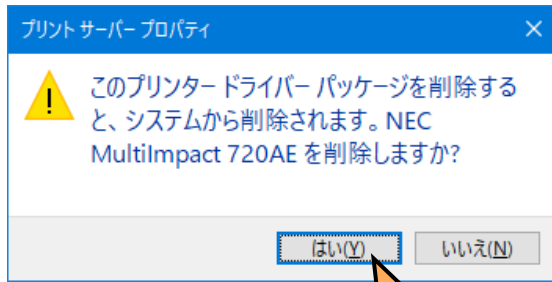
[ドライバー設定の変更]ボタンが表示されている場合は、ボタンをクリックし管理者権限で実行してください。



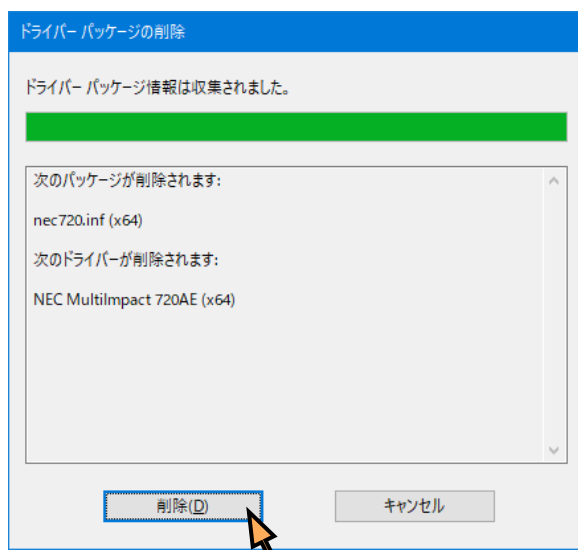
⑥ 「ドライバーとパッケージの削除」画面が表示されますので、「ドライバーとドライバーパッケージを削除する」を選択し、「[OK]」ボタンをクリックします。



- ⑦「このプリンタードライバーパッケージを削除すると、システムから削除されます。NEC MultiImpact 720AE を削除しますか？」画面が表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。

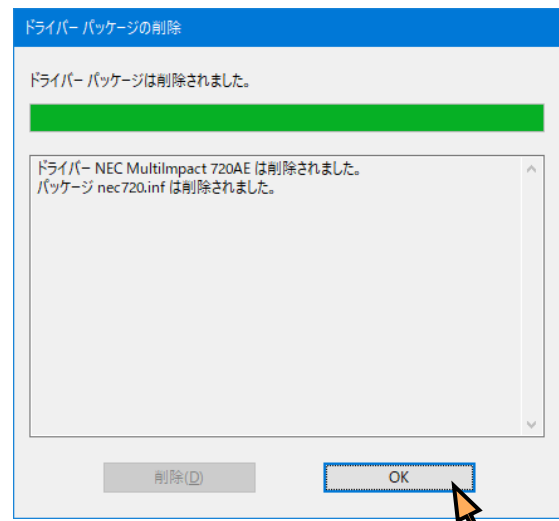


- ⑧「ドライバーパッケージの削除」画面が表示されますので、[削除] ボタンをクリックします。



「使用中です」と表示され削除できない場合は、パソコンを再起動後、手順④からやり直してください。

- ⑨ 削除が終わったら[OK]をクリックし、[閉じる]ボタンをクリックして「プリントサーバーのプロパティ」ダイアログを終了します。

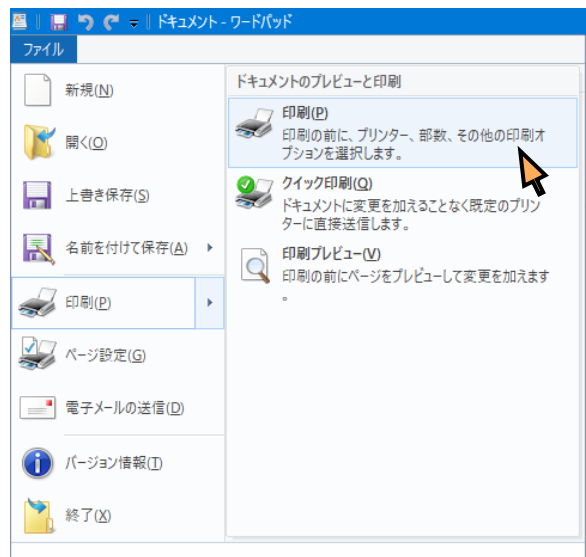


印刷の手順

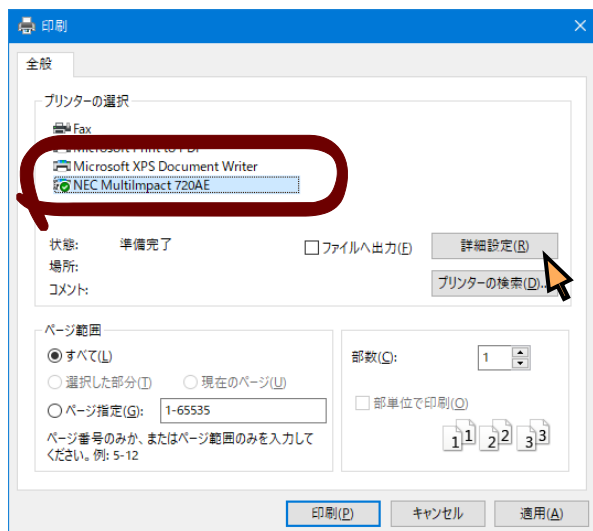
ここでは、Windows 10 に付属の「ワードパッド」を使用して、Multi Impact 720AEN に印刷する手順を例にして説明します。Multi Impact 720SEN をお使いの方は読み替えてください。ワードパッドの使い方についてはワードパッドのヘルプを参照してください。また、お使いになるアプリケーションによってはメニュー構成など多少異なる場合があります。

- ① ワードパッドを起動して帳票を作成し、[印刷] をクリックします。

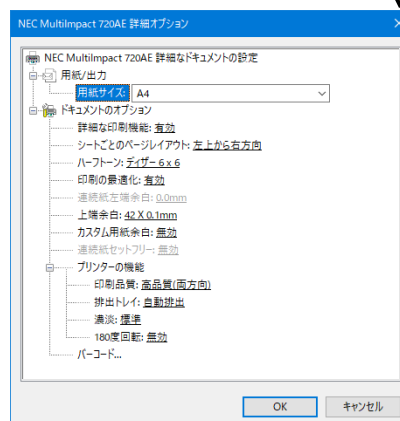
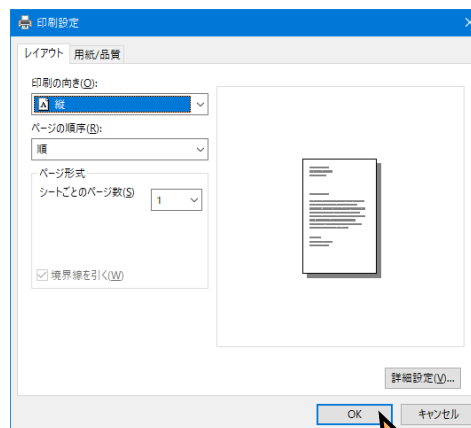
[印刷] ダイアログボックスが開きます。



- ② [プリンターの選択] に「NEC MultiImpact 720AE」が表示されていることを確認して[詳細設定] をクリックします。

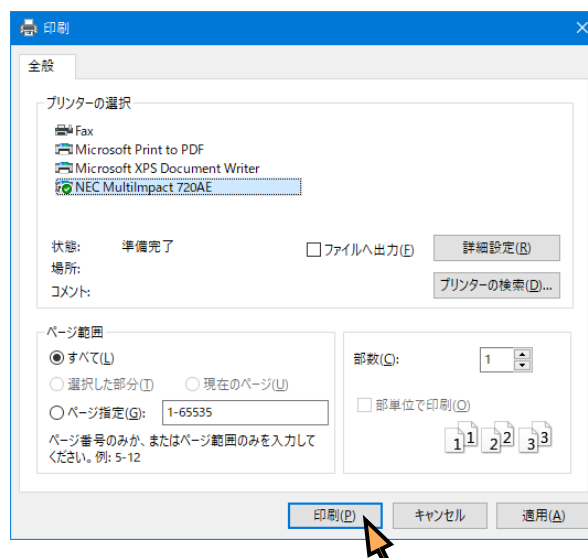


- ③ 用紙サイズなど印刷の設定をして [OK] をクリックします。



- ④ [印刷] をクリックします。

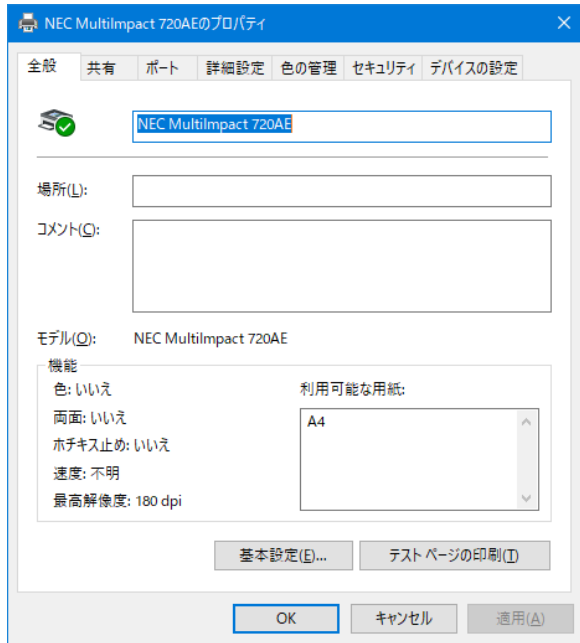
印刷が開始されます。



プロパティダイアログボックス

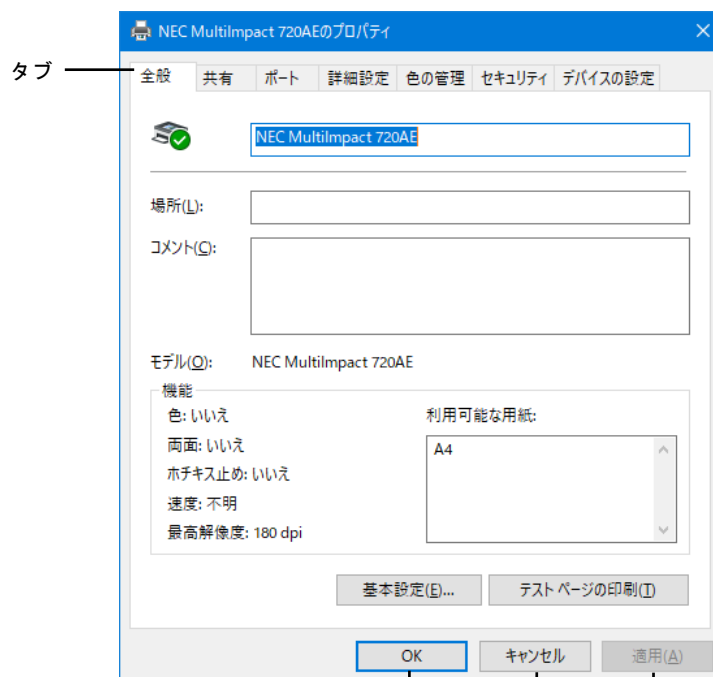
[プロパティ]ダイアログボックスで設定する方法について、プロパティシートごとに説明します。

[プロパティ]ダイアログボックスはプリンタのポートや共有などに関する設定のダイアログボックスです。次の 7 枚のプロパティシートから構成されています。



- ・ [全般] シート
- ・ [共有] シート
- ・ [ポート] シート
- ・ [詳細設定] シート
- ・ [色の管理] シート *1
- ・ [セキュリティ] シート *1
- ・ [デバイスの設定] シート

各プロパティシートを開くには、開きたい項目のタブをクリックします。
また各プロパティシート共通に使用されているボタンには以下のような機能があります。



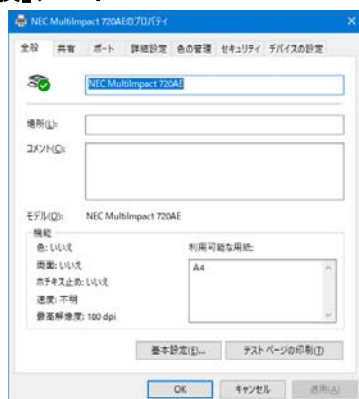
すべての設定を有効にし、設定を終了します。

現在開いているプロパティシート内の設定に変更します。

すべての設定を無効にし、変更以前の状態で設定を終了します。

*1 ご使用の OS や設定によって表示されないことがあります

[全般]シート



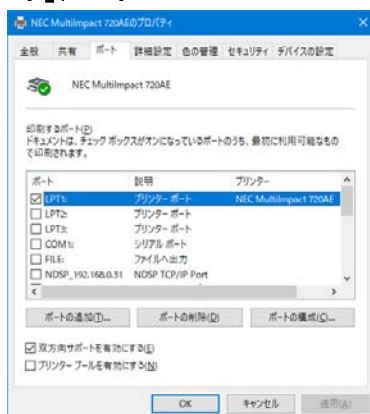
[場所]や[コメント]には印刷の際の参照となる情報を登録しておくことができます。また、プリンタの持つ機能の一覧や印刷設定ダイアログボックスの表示、テストページの印刷などもできます。

[共有]シート



プリンタをネットワーク上の「共有プリンタ」として使用する際にこのシートで設定します。

[ポート]シート



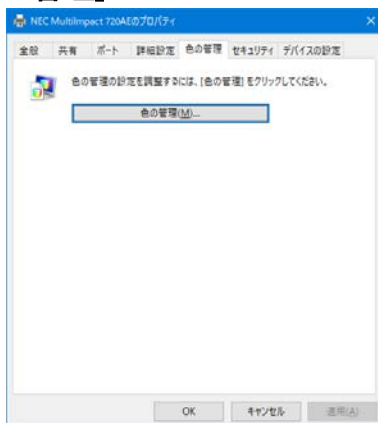
プリンタとコンピュータの接続方法を変更した際などにこのシートで接続先（ポート）の指定をします。「印刷先の変更」（49 ページ）で詳しい手順を説明しています。

[詳細設定]シート



通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。特に説明のない限り、初期状態の設定でご利用ください。

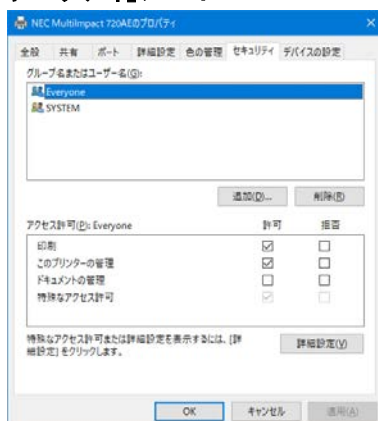
[色の管理]シート



通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

ご使用の OS や設定によって表示されないことがあります。
Multi Impact 720AEN、Multi Impact 720SEN はカラー印刷に対応していません。

[セキュリティ]シート



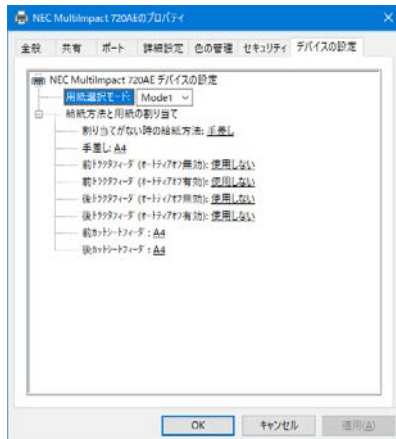
通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

ご使用の OS や設定によって表示されないことがあります。

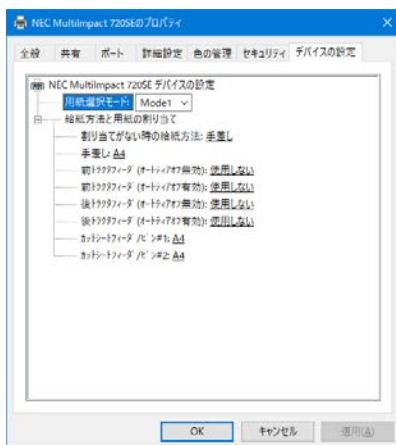


変更の内容によっては印刷の権限を失うことなどがあります。変更する前にシステム管理者にお問い合わせの上、設定してください。

[デバイスの設定]シート



MutlImpact 720AEN



MutlImpact 720SEN

[用紙選択モード]

用紙サイズ決定方法の切り替えを行います。

プログラム(アプリケーション)から用紙サイズを指定したときに、目的の用紙が選択されないときは、本設定を変更してください。

・ Mode1

「サーバーのプロパティ」で作成したカスタム用紙を使用するときを選択します。

サポート用紙の中から、指定されたサイズに同じか、指定されたサイズより大きい一番近い用紙が選択されます。

・ Mode2

プログラム(アプリケーション)から用紙サイズ(dmPaperSize=256/0)と、用紙幅(dmPaperWidth)、用紙長さ(dmPaperLength)で指定するときを選択します。

サポート用紙の中から、指定されたサイズに同じか、指定されたサイズより大きい一番近い用紙が選択されます。

・ Mode3

プログラム(アプリケーション)から用紙サイズ(dmPaperSize)を示す番号のみで指定するときを選択します。

・ Mode4

プログラム(アプリケーション)から用紙名(dmFormName)のみで指定するときを選択します。

・ Mode5

プログラム(アプリケーション)から用紙幅(dmPaperWidth)、用紙長さ(dmPaperLength)のみで指定するときを選択します。
サポート用紙の中から、指定されたサイズに同じか、指定されたサイズより大きい一番近い用紙が選択されます。

・ Mode6

プログラム(アプリケーション)から用紙幅(dmPaperWidth)、用紙長さ(dmPaperLength)のみで指定するときを選択します。
サポートする連続紙の中から、指定されたサイズに同じか、指定された用紙幅以上で、用紙長さが最近似の用紙が選択されます。

注) プログラム(アプリケーション)から用紙幅、用紙長さを指定するときは、実際に使用する用紙サイズと同じか、少し小さい値で指定してください。

使用する用紙より大きい値を指定すると、異なる用紙が選択される場合があります。

演算時の端数は、切り捨てて用紙サイズとしてください。

[給紙方法と用紙の割り当て]

複数の給紙方法を持つプリンタドライバで、[給紙方法]を[自動選択]に設定した場合に、用紙によって給紙方法を切り替えるために設定する項目です。

[給紙方法]が[自動選択]以外の場合は、「印刷設定」ダイアログの用紙サイズで行います。

用紙サイズと印刷範囲

本プリンタドライバで利用できる用紙サイズと印刷範囲は以下の通りです。

用紙サイズ

単位：mm

用紙	用紙幅	用紙長
A3	297.00	420.00
A3 横	420.00	297.00
A4	210.00	297.00
A4 横	297.00	210.00
A5	148.00	210.00
A5 横	210.00	148.00
A6	105.00	148.00
A6 横	148.00	105.00
A3 / ^レ 329 x 483 mm	329.00	483.00
A4 / ^レ 224 x 355 mm	224.00	355.00
A4 / ^レ 横 355 x 224 mm	355.00	224.00
B4 (JIS)	257.00	364.00
B4 (JIS) 横	364.00	257.00
B5 (JIS)	182.00	257.00
B5 (JIS) 横	257.00	182.00
Letter	215.90	279.40
Legal	215.90	355.60
はがき	100.00	148.00
はがき横	148.00	100.00
往復はがき	200.00	148.00
往復はがき横	148.00	200.00
封筒 長形 2 号 横	277.00	119.00
封筒 長形 3 号 横	235.00	120.00
封筒 長形 4 号 横	205.00	90.00
封筒 長形 5 号 横	185.00	90.00
封筒 角形 2 号 横	332.00	240.00
封筒 角形 3 号 横	277.00	216.00
封筒 角形 4 号 横	267.00	197.00
封筒 角形 5 号 横	240.00	190.00
封筒 角形 6 号 横	229.00	162.00
封筒 角形 7 号 横	205.00	142.00
封筒 角形 8 号 横	197.00	119.00
封筒 洋形 1 号 横	176.00	120.00
封筒 洋形 2 号 横	162.00	114.00
封筒 洋形 3 号 横	148.00	98.00
封筒 洋形 4 号 横	235.00	105.00
封筒 洋形 5 号 横	217.00	95.00
封筒 洋形 6 号 横	190.00	98.00
封筒 洋形 7 号 横	165.00	92.00
封筒 US10 (239 x 105 mm)	238.00	105.00
封筒 German Type (220 x 111 mm)	220.00	111.00
名刺 55 x 90 mm	55.00	90.00

用紙	用紙幅	用紙長
10x11 インチ	254.00	279.40
10x14 インチ	254.00	355.60
11x17 インチ	297.40	431.80
12x11 インチ	304.80	279.40
15x11 インチ	381.00	279.40
9x11 インチ	228.60	279.40
10 x 11 インチ連続紙	254.00	279.40
12 x 11 インチ連続紙	304.80	279.40
15 x 11 インチ連続紙	381.00	279.40
縦 1 インチ (25.4mm) 連続紙	381.00	25.40
縦 2 インチ (50.8mm) 連続紙	381.00	50.80
縦 2.5 インチ (63.5mm) 連続紙	381.00	63.50
縦 3 インチ (76.2mm) 連続紙	381.00	76.20
縦 4 インチ (101.6mm) 連続紙	381.00	101.60
縦 4.5 インチ (114.3mm) 連続紙	381.00	114.30
縦 5 インチ (127.0mm) 連続紙	381.00	127.00
縦 5.5 インチ (139.7mm) 連続紙	381.00	139.70
縦 6 インチ (152.4mm) 連続紙	381.00	152.40
縦 6.5 インチ (165.1mm) 連続紙	381.00	165.10
縦 7 インチ (177.8mm) 連続紙	381.00	177.80
縦 7.5 インチ (190.5mm) 連続紙	381.00	190.50
縦 8 インチ (203.2mm) 連続紙	381.00	203.20
縦 8.5 インチ (215.9mm) 連続紙	381.00	215.90
縦 9 インチ (228.6mm) 連続紙	381.00	228.60
縦 9.5 インチ (241.3mm) 連続紙	381.00	241.30
縦 10 インチ (254.0mm) 連続紙	381.00	254.00
縦 10.5 インチ (266.7mm) 連続紙	381.00	266.70
縦 11 インチ (279.4mm) 連続紙	381.00	279.40
縦 12 インチ (304.8mm) 連続紙	381.00	304.80
縦 12.5 インチ (317.5mm) 連続紙	381.00	313.80
縦 13 インチ (330.2mm) 連続紙	381.00	330.20
縦 14 インチ (355.6mm) 連続紙	381.00	355.60
縦 3 1/3 インチ (84.7mm) 連続紙	381.00	84.70
縦 3 2/3 インチ (93.1mm) 連続紙	381.00	93.10
縦 4 1/3 インチ (110.1mm) 連続紙	381.00	110.10
縦 4 2/3 インチ (118.5mm) 連続紙	381.00	118.50
縦 5 1/3 インチ (135.5mm) 連続紙	381.00	135.50
縦 5 2/3 インチ (143.9mm) 連続紙	381.00	143.90
縦 6 2/3 インチ (169.3mm) 連続紙	381.00	169.30
縦 10 インチ (3 等分) (84.7mm) 連続紙	381.00	84.70
縦 11 インチ (3 等分) (93.1mm) 連続紙	381.00	93.10
縦 11 インチ (4 等分) (69.9mm) 連続紙	381.00	39.90
縦 11 インチ (5 等分) (55.9mm) 連続紙	381.00	55.90
縦 11 インチ (6 等分) (46.6mm) 連続紙	381.00	46.60
縦 13 インチ (4 等分) (82.6mm) 連続紙	381.00	82.60

注 1) 「はがき」は、郵政はがきです。

単位：mm

用紙	用紙幅	用紙長
ターンアラウンド1型	304.80	127.00
ターンアラウンド2型	304.80	127.00
ターンアラウンド3型	304.80	152.40
ターンアラウンド4型	304.80	254.00
チェーンストアタイプ用(No なし)	254.00	127.00
チェーンストアタイプ用(No あり)	254.00	127.00
チェーンストアタイプ用1型(No なし)	279.40	127.00
チェーンストアタイプ用1型(No あり)	279.40	127.00
チェーンストア OCR 用(No なし)	254.00	127.00
チェーンストア OCR 用(No あり)	254.00	127.00
チェーンストア OCR 用1型	304.80	127.00
チェーンストア OCR 用2型	304.80	127.00
菓子統一伝票(新)	304.80	127.00
菓子統一伝票(旧)	279.40	127.00
家電業界統一伝票 E 様式(新)	254.00	127.00
家電業界統一伝票 E 様式(旧)	254.00	127.00
百貨店統一伝票タイプ用買取	254.00	127.00
百貨店統一伝票タイプ用買取(旧)	279.40	127.00
百貨店統一伝票タイプ用委託	254.00	127.00
百貨店統一伝票タイプ用2型	304.80	152.40
業際統一伝票	304.80	127.00
文具統一伝票	281.94	127.00
ユーザー定義サイズ	55.0 ~ 420.00	25.4 ~ 420.00

注 2) ユーザー定義サイズ用紙は、[プリントサーバーのプロパティ]で作成します。詳細は[ユーザー定義用紙の作成方法]の項を参照してください。

印刷領域

単位：mm

給紙方法	余白	
	上端	下端
手差し	(注 1), (注 2)	4.23, (注 2)
前トラクタフィーダ (オートフィード無効)	(注 1), (注 2)	0.00, (注 2)
前トラクタフィーダ (オートフィード有効)	(注 1), (注 2)	0.00, (注 2)
後トラクタフィーダ (オートフィード無効)	(注 1), (注 2)	0.00, (注 2)
後トラクタフィーダ (オートフィード有効)	(注 1), (注 2)	0.00, (注 2)
前カットシートフィーダ, カットシートフィーダ/ピン#1	(注 1), (注 2)	4.23, (注 2)
後カットシートフィーダ, カットシートフィーダ/ピン#2	(注 1), (注 2)	4.23, (注 2)

注 1) 上端余白は、「上端余白」に従った余白となります。

注 2) カスタム用紙余白を有効にしたときは、ユーザー定義サイズ用紙作成時に設定した余白となります。

単位：mm

用紙	余白	
	左端	右端
A3	5.08	5.08
A3 横	37.32	37.32
A4, A4 横	5.08	5.08
A5, A5 横	5.08	5.08
A6, A6 横	5.08	5.08
B4(JIS)	5.08	5.08
B4(JIS) 横	5.08	13.48
B5(JIS), B5(JIS) 横	5.08	5.08
Letter	5.08	5.08
Legal	5.08	5.08
はがき, はがき 横	5.08	5.08
往復はがき, 往復はがき 横	5.08	5.08
封筒 長形 2 号 横	12.00	12.00
封筒 長形 3 号 横	12.00	12.00
封筒 長形 4 号 横	12.00	12.00
封筒 長形 5 号 横	12.00	12.00
封筒 角形 2 号 横	12.00	12.00
封筒 角形 3 号 横	12.00	12.00
封筒 角形 4 号 横	12.00	12.00
封筒 角形 5 号 横	12.00	12.00
封筒 角形 6 号 横	12.00	12.00
封筒 角形 7 号 横	12.00	12.00
封筒 角形 8 号 横	12.00	12.00
封筒 洋形 1 号 横	12.00	12.00
封筒 洋形 2 号 横	12.00	12.00
封筒 洋形 3 号 横	12.00	12.00
封筒 洋形 4 号 横	12.00	12.00
封筒 洋形 5 号 横	12.00	12.00
封筒 洋形 6 号 横	12.00	12.00
封筒 洋形 7 号 横	12.00	12.00
封筒 US10 (239 x 105 mm)	12.00	12.00
封筒 German Type (220 x 111 mm)	12.00	12.00
名刺 55 x 90 mm	5.08	5.08

用紙	余白	
	左端	右端
10x11 インチ	(注 3) (注 4)	(注 3) (注 4)
10x14 インチ	(注 3) (注 4)	(注 3) (注 4)
11x17 インチ	(注 3) (注 4)	(注 3) (注 4)
12x11 インチ	(注 3) (注 4)	(注 3) (注 4)
15x11 インチ	(注 3) (注 4)	(注 3) (注 4)
9x11 インチ	(注 3) (注 4)	(注 3) (注 4)
10 x 11 インチ連続紙	(注 3)	(注 3)
12 x 11 インチ連続紙	(注 3)	(注 3)
15 x 11 インチ連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 1 インチ(25.4mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 2 インチ(50.8mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 2.5 インチ(63.5mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 3 インチ(76.2mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 4 インチ(101.6mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 4.5 インチ(114.3mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 5 インチ(127.0mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 5.5 インチ(139.7mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 6 インチ(152.4mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 6.5 インチ(165.1mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 7 インチ(177.8mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 7.5 インチ(190.5mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 8 インチ(203.2mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 8.5 インチ(215.9mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 9 インチ(228.6mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 9.5 インチ(241.3mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 10 インチ(254.0mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 10.5 インチ(266.7mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 11 インチ(279.4mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 12 インチ(304.8mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 12.5 インチ(317.5mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 13 インチ(330.2mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 14 インチ(355.6mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 3 1/3 インチ(84.7mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 3 2/3 インチ(93.1mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 4 1/3 インチ(110.1mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 4 2/3 インチ(118.5mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 5 1/3 インチ(135.5mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 5 2/3 インチ(143.9mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 6 2/3 インチ(169.3mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 10 インチ(3 等分) (84.7mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 11 インチ(3 等分) (93.1mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 11 インチ(4 等分) (69.9mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 11 インチ(5 等分) (55.9mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 11 インチ(6 等分) (46.6mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 13 インチ(4 等分) (82.6mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)

単位：mm

用紙	用紙幅	用紙長
ターンアラウンド1型	(注3)	(注3)
ターンアラウンド2型	(注3)	(注3)
ターンアラウンド3型	(注3)	(注3)
ターンアラウンド4型	(注3)	(注3)
チェーンストアタイプ用(Noなし)	(注3)	(注3)
チェーンストアタイプ用(Noあり)	(注3)	(注3)
チェーンストアタイプ用1型(Noなし)	(注3)	(注3)
チェーンストアタイプ用1型(Noあり)	(注3)	(注3)
チェーンストア OCR 用(Noなし)	(注3)	(注3)
チェーンストア OCR 用(Noあり)	(注3)	(注3)
チェーンストア OCR 用1型	(注3)	(注3)
チェーンストア OCR 用2型	(注3)	(注3)
菓子統一伝票(新)	(注3)	(注3)
菓子統一伝票(旧)	(注3)	(注3)
家電業界統一伝票 E 様式(新)	(注3)	(注3)
家電業界統一伝票 E 様式(旧)	(注3)	(注3)
百貨店統一伝票タイプ用買取	(注3)	(注3)
百貨店統一伝票タイプ用買取(旧)	(注3)	(注3)
百貨店統一伝票タイプ用委託	(注3)	(注3)
百貨店統一伝票タイプ用2型	(注3)	(注3)
業際統一伝票	(注3)	(注3)
文具統一伝票	(注3)	(注3)
ユーザー定義サイズ	(注3)	(注3)

注3) 左端余白／右端余白は、有効になっている「連続紙左端余白」、「カスタム用紙余白」、「連続紙セットフリー」の何れかに従った余白となります。
右端余白は、下表の通りです。

単位：mm

有効項目	右端余白	
	用紙幅が最大 印字可能領域 (345.44mm) 以下	用紙幅が最大 印字可能領域 (345.44mm) 以上
連続紙左端余白	0.00	最大印字可能 領域を超える 分は全て余白
カスタム用紙余白	用紙作成時に 設定した値	
連続紙セットフリー	11.28	

注4) 下記用紙と手差しなど単票系給紙口を組み合わせたときの左右余白は、下表の通りです。

単位：mm

用紙	余白（既定値）	
	左端	右端
10x11 インチ	5.08	5.08
10x14 インチ	5.08	5.08
11x17 インチ	5.08	5.08
12x11 インチ	5.08	5.08
15x11 インチ	5.08	30.48
9x11 インチ	5.08	5.08

印刷の詳細設定

ここでは Windows 10 を例に説明します。その他の OS をお使いの場合は、画面の表示が多少異なりますが、プリンタドライバが提供する機能は同じです。

[印刷設定]ダイアログボックスを開く

印刷設定ダイアログボックスを呼び出す方法は次の 2 通りあります。

コントロールパネルから呼び出す場合

- ① コントロールパネルから[デバイスとプリンター]を開きます。
- ② 「NEC MultiImpact 720AE」または「NEC MultiImpact 720SE」のプリンタアイコンを右クリックします。
- ③ 右クリックメニューの[印刷設定]、または[プリンターのプロパティ]の[全般]タブ→[基本設定]を選択します。

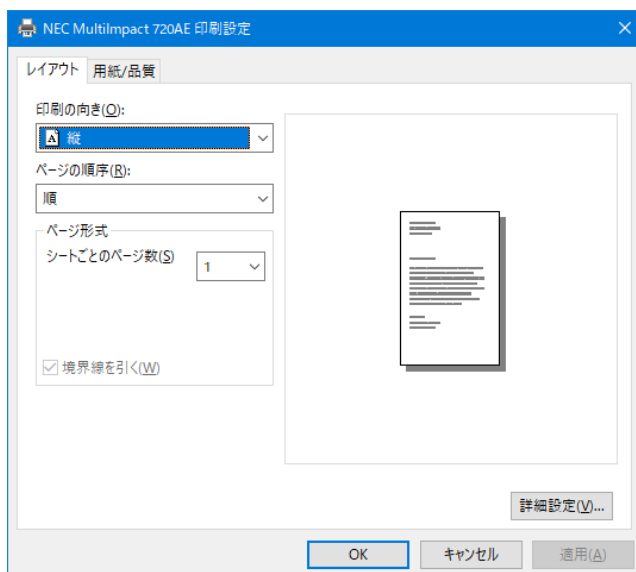
アプリケーションから呼び出す場合

アプリケーションの[ファイル]メニューの[印刷]または[プリンターの設定]を使います。(ほとんどの場合、[ファイル]メニューの中にありますが、メニューの構成はアプリケーションによって異なります。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。)

アプリケーション内で設定した内容は、アプリケーション内でのみ有効です。

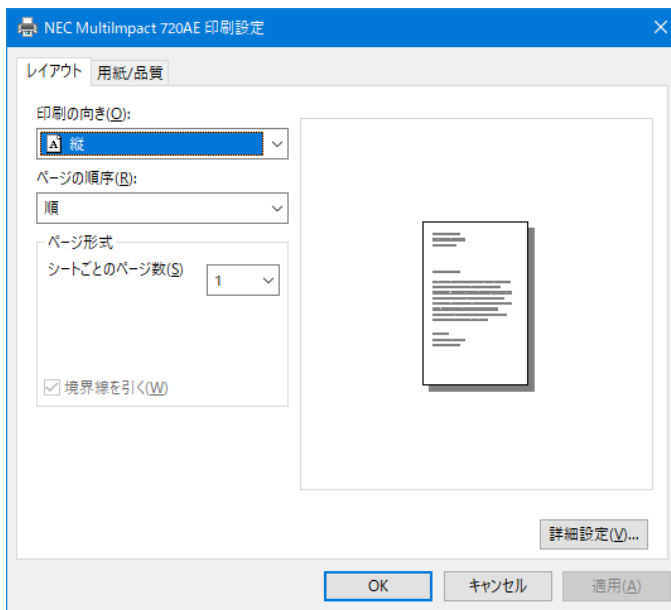
[印刷設定]ダイアログボックスで詳細設定を行う


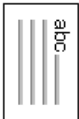
印刷の詳細な設定をするダイアログボックスです。次のプロパティシートから構成されています。



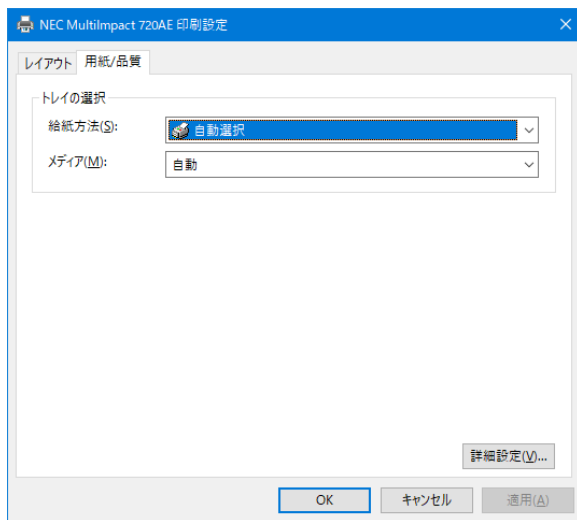
- ・ [\[レイアウト\] シート](#)
- ・ [\[用紙/品質\] シート](#)
- ・ [\[詳細設定\] ダイアログ](#)
- ・ [\[バーコード\] ダイアログ](#)

[レイアウト] シート



設定項目名	説明・選択項目・設定範囲
印刷の向き	<p><説明> ドキュメントを印刷する向きを指定します。</p> <p><選択項目></p> <p>縦 用紙を縦にして印刷します。</p>  <p>紙送り方向</p> <p>横 用紙を横にして印刷します。</p>  <p>紙送り方向</p>
ページの順序	<p><説明> 印刷する順番を 1 ページ目から印刷するか、最後のページから印刷するかを指定します。</p> <p><選択項目></p> <p>順 1 ページ目から印刷します。</p> <p>逆 最後のページから印刷します。</p>
シートごとのページ数	<p><説明> 1 枚の用紙に印刷するページ数を指定します。</p> <p><選択項目> 1、2、4、6、9、16</p>
境界線を引く	<p><説明> チェックを入れると、1 枚の用紙に複数のページを印刷するときに、ページ間に境界線を引きます。</p>

[用紙/品質] シート

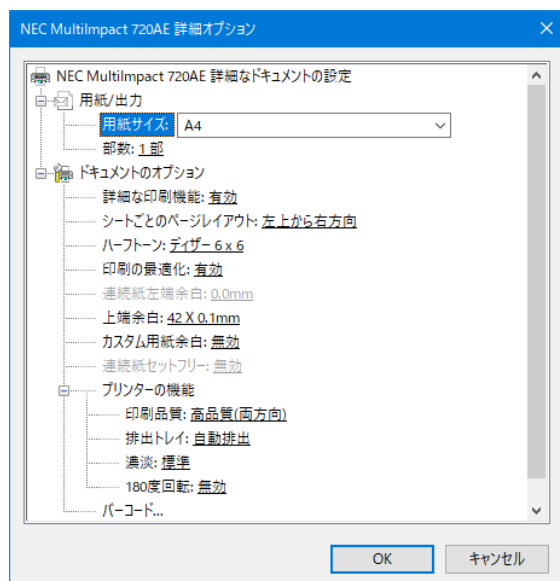


設定項目名	説明・選択項目・設定範囲
給紙方法	<p><説明> 用紙の給紙方法を選択します。</p> <p><選択項目></p> <p>自動選択 「自動選択」のまま印字すると、[デバイスの設定]タブで、同じサイズ of 用紙が割り当てられている給紙方法で印字します。 同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印字します。</p> <p>手差し 単票テーブルから給紙します。 「上端余白」で設定した値(初期値: 4.2mm)が用紙の上端余白量になります。</p> <p>前トラクタフィーダ (オートフィード無効) 単票テーブルの下に装備されている用紙送りトラクタから給紙します。 「上端余白」で設定した値(初期値: 4.2mm)が用紙の上端余白量になります。</p> <p>前トラクタフィーダ (オートフィード有効) 単票テーブルの下に装備されている用紙送りトラクタから給紙します。印字終了時にミシン目カット位置まで搬送します。 「上端余白」で設定した値(初期値: 4.2mm)が用紙の上端余白量になります。</p> <p>後トラクタフィーダ (オートフィード無効) プリンタ後面に装備されている用紙送りトラクタから給紙します。 「上端余白」で設定した値(初期値: 4.2mm)が用紙の上端余白量になります。</p> <p>後トラクタフィーダ (オートフィード有効) プリンタ後面に装備されている用紙送りトラクタから給紙します。印字終了時にミシン目カット位置まで搬送します。 「上端余白」で設定した値(初期値: 4.2mm)が用紙の上端余白量になります。</p> <p>前カットシートフィーダ ※MultiImpact 720AEN のとき プリンタ前面に装着されているカットシートフィーダから給紙します。 「上端余白」で設定した値(初期値: 4.2mm)が用紙の上端余白量になります。</p> <p>後カットシートフィーダ ※MultiImpact 720AEN のとき プリンタ後面に装着されているカットシートフィーダから給紙します。 「上端余白」で設定した値(初期値: 4.2mm)が用紙の上端余白量になります。</p> <p>カットシートフィーダ /ビン#1 ※MultiImpact 720SEN のとき カットシートフィーダを前後同時搭載したときに、セットアップの「CSF ビン1 選択」で設定されているカットシートフィーダから給紙します。 同時搭載していないときは、プリンタに装着されているカットシートフィーダから給紙します。 「上端余白」で設定した値(初期値: 4.2mm)が用紙の上端余白量になります。</p> <p>カットシートフィーダ /ビン#2 ※MultiImpact 720SEN のとき カットシートフィーダを前後同時搭載したときに、セットアップの「CSF ビン1 選択」で設定されていないカットシートフィーダから給紙します。 同時搭載していないときは、プリンタに装着されているカットシートフィーダから給紙します。 「上端余白」で設定した値(初期値: 4.2mm)が用紙の上端余白量になります。</p>

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲
メディア	<p><説明> 用紙厚調整の方法を設定します。 プリンタ装置側の用紙厚調整の設定が「自動」に設定されている場合のみ、本設定が有効になります。</p> <p><選択項目></p> <p>自動 用紙厚を自動で調整します。</p> <p>レゾ 1～レゾ D 用紙厚を指定の厚さに設定します。 ※MultiImpact 720AEN のとき</p> <p>1 枚厚～8 枚厚 用紙厚を指定の厚さに設定します。 ※MultiImpact 720SEN のとき</p> <p>プリント設定優先 用紙の厚さは、プリンタの設定に従います。</p>

【詳細設定】ダイアログ

本画面では、印刷品質や濃淡など、詳細なドキュメントの設定を行います。



設定項目名	説明・選択項目・設定範囲				
用紙サイズ	<p><説明> 用紙サイズを指定します。</p> <p><選択項目> 「用紙サイズ」の項を参照してください。</p>				
部数	<p><説明> 部数を指定します。</p> <p><選択項目> 1～9999</p>				
部単位	<p><説明> 部数印刷のとき、部単位で印刷を行うかを指定します。</p>				
詳細な印刷機能	<p><説明> 詳細な印刷機能の有効/無効を切り替えます。</p> <p><選択項目></p> <table border="1"> <tr> <td>有効</td><td>詳細な印刷機能を有効にします。</td></tr> <tr> <td>無効</td><td>詳細な印刷機能を無効にします。 無効にすると、部単位印刷やシートごとのページ割り当てなどの機能が使用できなくなります。</td></tr> </table>	有効	詳細な印刷機能を有効にします。	無効	詳細な印刷機能を無効にします。 無効にすると、部単位印刷やシートごとのページ割り当てなどの機能が使用できなくなります。
有効	詳細な印刷機能を有効にします。				
無効	詳細な印刷機能を無効にします。 無効にすると、部単位印刷やシートごとのページ割り当てなどの機能が使用できなくなります。				
シートごとのページレイアウト	<p><説明> シートごとのページを設定したときのレイアウト方向を指定します。</p> <p><選択項目> 左上から右方向、左上から下方向、右上から左方向、右上から下方向</p>				
ハーフトーン	<p><説明> カラーをモノクロに変換する際の網模様を指定します。</p> <p><選択項目> ディザ-6x6、ディザ-8x8</p>				

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲
印刷の最適化	<説明> 印刷の最適化を有効にするかしないかを設定します。
	<選択項目>
	有効 印刷の最適化を有効にします。 無効 印刷の最適化を無効にします。 印刷結果が正しくないときは、この機能を「無効」にしてください。
連続紙左端余白	<説明> 連帳用紙の左端余白を設定します。 この設定はシステムに通知する左端余白の値が変わるだけで、印刷開始位置は連帳用紙をセットした位置によって決まります。
	<選択項目>
	0.0mm、5.0mm、12.7mm
上端余白	<説明> 吸入した用紙の上端余白を設定します。
	<選択項目>
	0.0mm ～ 4.2mm ～ 51.0mm
カスタム用紙余白	<説明> プリントサーバーのプロパティで、ユーザー定義サイズ用紙を作成したときに設定した余白（上下左右）を有効にします。 プリンタドライバの規定値による余白量の違いで印字位置がずれるときは、プリントサーバーのプロパティでユーザー定義サイズ用紙を作成するときに上下左右余白を設定し、作成した用紙を選択して、本項目を「有効」にしてください。 本項目を「有効」で使用するときは、プリンタの[余白量設定]で、使用する給紙口の「上端余白量」、および「セットフリー余白量」を0mmにしてください。 設定方法は、ユーザーズマニュアルを参照してください。
	—注意事項— ・ 印字する際は、本プリンタの印字保証範囲内でお使いください。 ・ 印字保証範囲外への印字は、印字ヘッドピンが折れたり、プリンタの故障の原因となります。
	<選択項目>
	有効 カスタム用紙余白を有効にします。
	無効 カスタム用紙余白を無効にします。
連続紙セットフリー	<説明> 連帳用紙をセットフリーで動作させるときの余白の最適化を設定します。
	<選択項目>
	有効 連帳用紙をセットフリーで動作させるときに適切な左右余白にします。 無効 連続紙セットフリーを無効にします。

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲
印刷品質	<説明> 印刷品質、および印刷方向を設定します。
	<選択項目>
	高品質（両方向） 高品質モードで両方向印刷を行います。
	高品質（片方向） 高品質モードで片方向印刷を行います。
	高速（両方向） 高速モードで両方向印刷を行います。
	高速（片方向） 高速モードで片方向印刷を行います。
	低騒音（両方向） 低騒音モードで両方向印刷を行います。
	低騒音（片方向） 低騒音モードで片方向印刷を行います。
	プリンタ設定優先（両方向） 印刷方向は両方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。 プリンタ設定優先（片方向） 印刷方向は片方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。
排出トレイ	<説明> 用紙の排出方向を設定します。
	<選択項目>
	自動排出 プリンタ側の設定に従って、用紙を排出します。
	手前排出 単票テーブルに用紙を排出します。
	後方排出 スタッカに用紙を排出します。
濃淡	<説明> 印刷圧を設定します。
	<選択項目>
	標準 標準の印字圧で印刷します。
	高複写 1 ※MultiImpact 720AEN のとき 高複写の印字圧で印刷します。
	高複写 2 ※MultiImpact 720AEN のとき 二度打ちすることにより、高複写 1 よりさらに高複写の印字圧で印刷します。
	高複写 ※MultiImpact 720SEN のとき 高複写の印字圧で印刷します。
	プリンタ設定優先 プリンタで設定されている印字圧に従います。
180 度回転	<説明> 180 度回転印刷を設定します。
	<選択項目>
	有効 ページ単位で、180 度回転して印刷します。 尚、プリンタフォントやバーコードフォントで指定された文字は、近似の TrueType フォントに置換えて印刷します。
	無効 通常の印刷を行います。

[バーコード] ダイアログ

本画面では、「バーコードの種類」で選択しているバーコードの書式を設定します。

《バーコード印刷の仕組み》

本プリンタドライバを印刷に使用するプリンタにすると、アプリケーション内でデバイスフォントとしてバーコードが選択できるようになります。

文書中の文字を、印刷したいバーコードにすると、その文字がバーコードとして印刷されます。

また、[置換元フォント]で設定されているフォントを選択しても、その文字がバーコードとして印刷されます。

例) NW-7 (Codabar) の置換元フォントを「MS P ゴシック」に設定すると、MS P ゴシックに設定されている文字を NW-7 (Codabar) バーコードとして印刷します。

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲												
バーコードの種類	<p><説明> 書式設定を行うバーコード選択します。 選択したバーコードによって、「バーコードの設定」の内容が変わります。</p> <p><選択項目></p> <table> <tr> <td>NW-7 (Codabar)</td><td>EAN13 (JAN 標準)</td></tr> <tr> <td>EAN8 (JAN 短縮)</td><td>CODE 3 of 9</td></tr> <tr> <td>Industrial 2 of 5</td><td>Interleaved 2 of 5</td></tr> <tr> <td>Matrix 2 of 5</td><td>UPC-A</td></tr> <tr> <td>UPC-E</td><td>CODE128</td></tr> <tr> <td>カスタマバーコード</td><td>QR コード</td></tr> </table>	NW-7 (Codabar)	EAN13 (JAN 標準)	EAN8 (JAN 短縮)	CODE 3 of 9	Industrial 2 of 5	Interleaved 2 of 5	Matrix 2 of 5	UPC-A	UPC-E	CODE128	カスタマバーコード	QR コード
NW-7 (Codabar)	EAN13 (JAN 標準)												
EAN8 (JAN 短縮)	CODE 3 of 9												
Industrial 2 of 5	Interleaved 2 of 5												
Matrix 2 of 5	UPC-A												
UPC-E	CODE128												
カスタマバーコード	QR コード												

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲
置換元フォント	<p><説明> バーコードの種類で選択したバーコードのバーコードフォントと、置換元フォントで選択したフォントをバーコードに変換して印字します。</p>
ナローバーの幅	<p><説明> ナローバー(細バー)の幅を指定します。</p>
バーコードの高さ	<p><説明> バーコードの高さを指定します。 [規定値]をチェックすると、ナローバーの幅で設定されている値の規定の高さとなります。</p>
チェックキャラクタを付加する	<p><説明> チェックを付けると、バーコードにチェックキャラクタを付加します。 選択したバーコードの種類によっては、設定できません。</p>
OCR-B キャラクタを付加する	<p><説明> チェックを付けると、バーコードに OCR-B キャラクタを付加します。</p>
フラグキャラクタの位置	<p><説明> フラグキャラクタの位置を指定します。選択したバーコードの種類によっては、設定できません。</p>
セルサイズ	<p><説明> セル(QR コードを構成する黒白の四角)のサイズを指定します。</p>
モデル番号	<p><説明> QR コードのモデルを指定します。</p>
誤り訂正レベル	<p><説明> QR コードの誤り訂正レベルを指定します。</p>
スペース幅微調整	<p><説明> バーコードのスペース幅の調整値を設定します。 カスタマバーコード、QR コードを選択しているときは、設定できません。</p>
規定値に戻す	<p><説明> バーコードの種類で選択されているバーコードの設定を規定値(初期値)に戻します。</p>

印刷先の変更

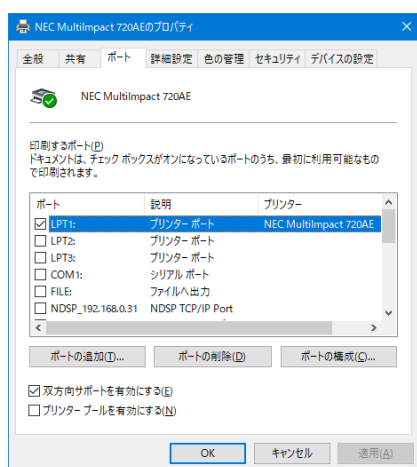
ここでは、プリンタドライバをインストールする際に、接続先を LPT1: としてインストールした設定を LAN に切り替える手順を説明します。

✓ チェック

- 接続先を LAN に切り替える際、コンピュータには印刷ポートである「NDSP TCP/IP Port」がインストールされている必要があります。NDSP TCP/IP Port のインストール、および印刷ポートの追加手順については「LAN の設定」を参照してください。

① プリンタドライバの [プリンターのプロパティ] を開きます。

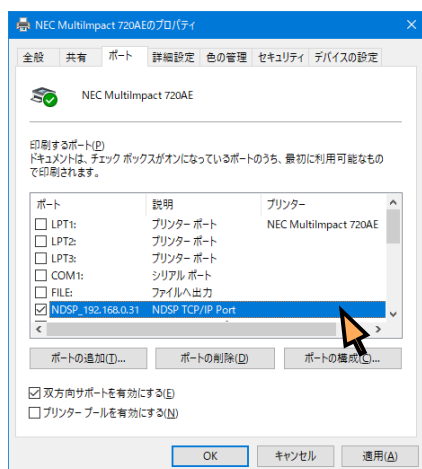
② [ポート] シートを開きます。



③ 設定済みの NDSP TCP/IP Port を選択します。

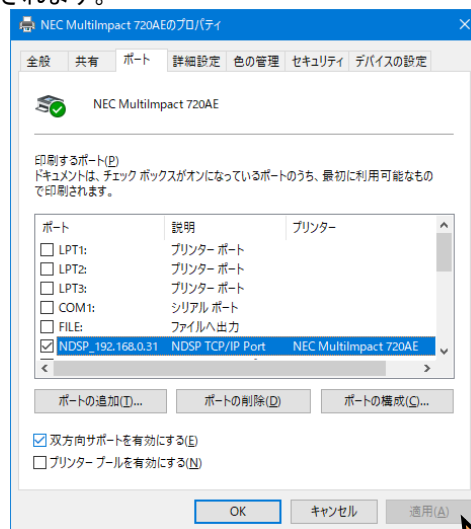
下図は [NDSP TCP/IP Port] で IP アドレスが [192.168.0.31] に設定された NDSP TCP/IP Port を選択している場合の例です。

使用するポートが一覧にない場合は、[ポートの追加] をクリックして新しいポートを作成してください。



④ [適用] をクリックします。

[プリンター] の欄にプリンタドライバの名前が表示されます。



⑤ [OK] をクリックします。

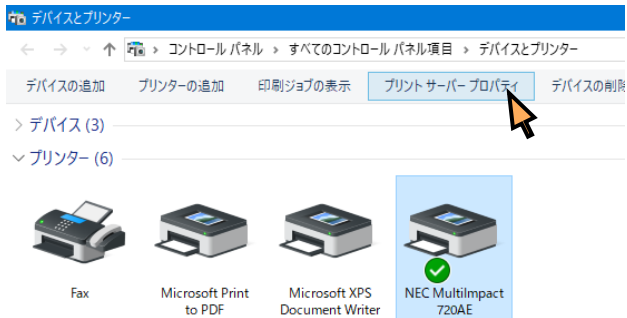
印刷先の変更が完了しました。

ユーザー定義用紙を登録する

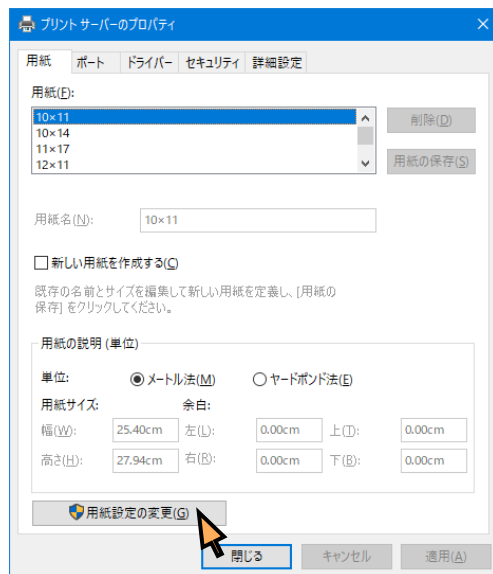
印刷する用紙に合わせて、サイズを設定し名称をつけて Windows に登録します。これにより、アプリケーションから新しい用紙が利用可能になります。登録は [プリントサーバー プロパティ] で行います。

① [デバイスとプリンター]フォルダを開きます。

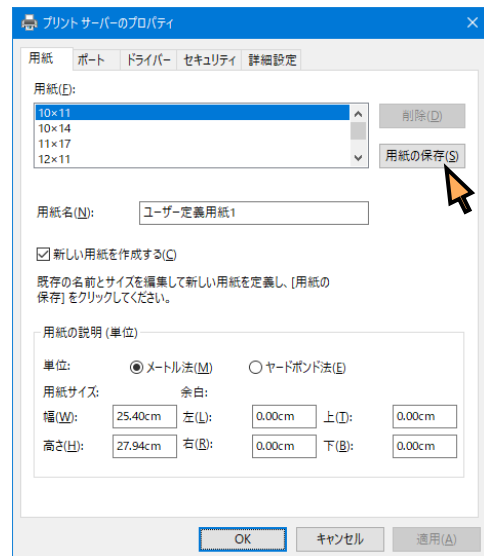
② [デバイスとプリンター]内にあるプリンタか FAX を選択し、[プリントサーバー プロパティ]を選択します。



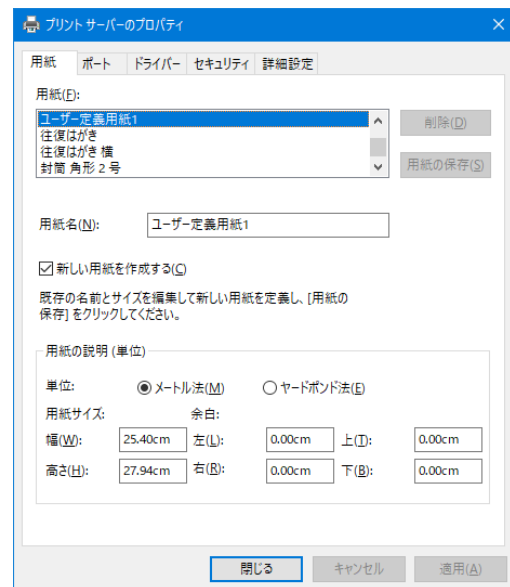
③ [用紙設定の変更]ボタンが表示されている場合はボタンをクリックして管理者権限で実行します。



④ [新しい用紙を作成する]にチェックを入れ、用紙名と用紙サイズを入力して、[用紙の保存]をクリックします。



⑤ 用紙のリストに作成した用紙が表示されます。



3

リモートパネル

リモートパネルは、本プリンタの各種機能をご使用のコンピュータの画面上で設定できるソフトウェアです。

ここでは Windows 10 で MultiImpact 720AEN を例に、リモートパネルのインストールと使い方について説明します。なお、リモートパネルのヘルプも併せて参照してください。

✓ チェック

- ・ リモートパネルを動作させるためにはプリンタドライバがインストールされている必要があります。
- ・ LAN インタフェースの場合、PR-NP-905 設定ツールで作成した専用ポートのデフォルトのポート名 (NDSP_XXX.XXX.XXX.XXX) に接続してください。
- ・ リモートパネルを使用するときは、プリンタドライバの双方向通信機能を有効に設定してください。

リモートパネルのインストール

- ① コンピュータの電源を ON にし、Windows 10 を起動します。

- ② ソフトウェア CD-ROM をドライブにセットし、SETUP.EXE を実行します。

「選択して、このディスクに対して行う操作を選んでください。」の画面が表示されます。このメッセージをクリックして表示される画面で、[SETUP.EXE の実行]をクリックします。

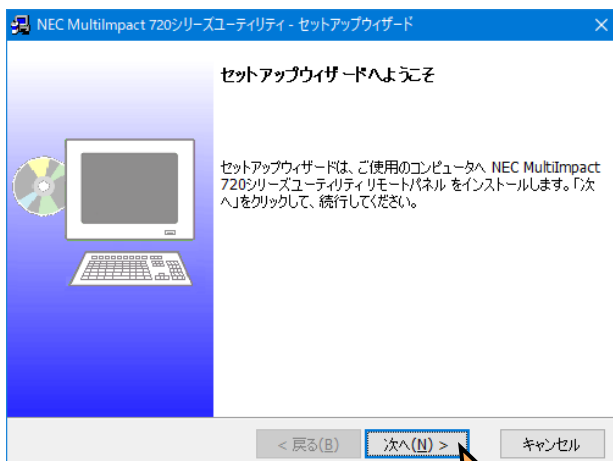
画面が表示されないときは、「エクスプローラー」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある SETUP.EXE をダブルクリックしてください。

- ③ ユーザーアカウント制御ダイアログが表示されます。[はい]をクリックします。

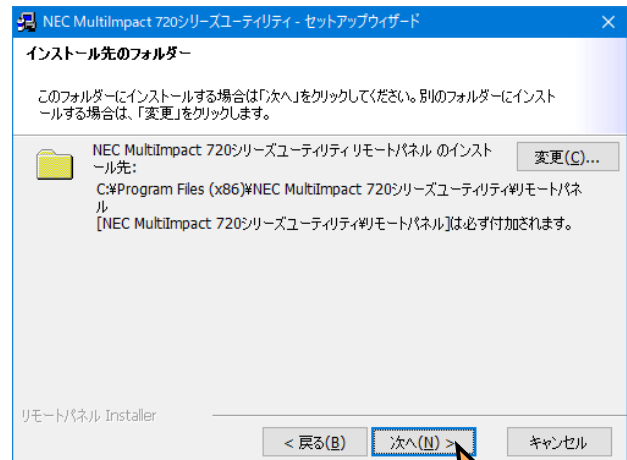
- ④ [リモートパネルのインストール]をクリックします。



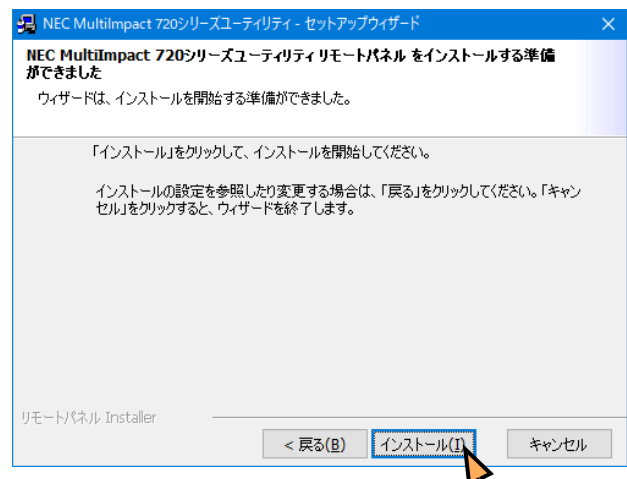
- ⑤ リモートパネルのセットアップウィザードが起動します。[次へ]をクリックします。



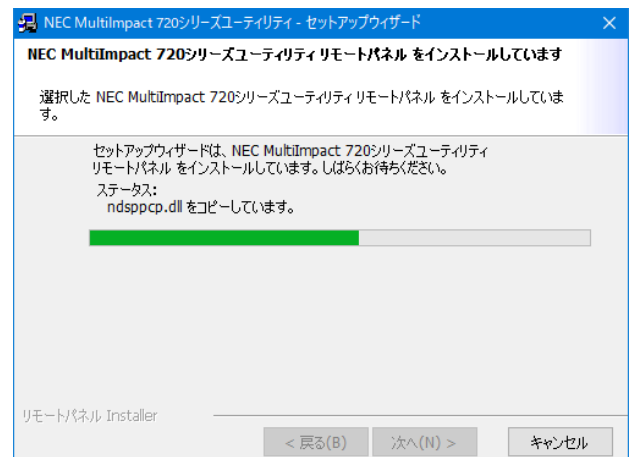
- ⑥ インストール先のフォルダーを選択し、[次へ]をクリックします。



- ⑦ 下記画面が表示されます。[インストール]をクリックします。



- ⑧ インストール中の画面が表示されます。インストールが完了するまでお待ちください。



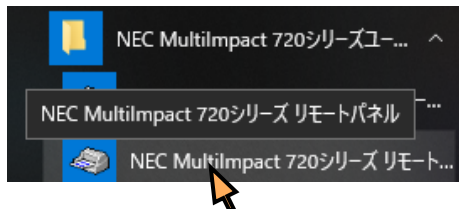
- ⑨ 完了画面が表示されます。[完了]をクリックします。
これで、リモートパネルのインストールは完了です。



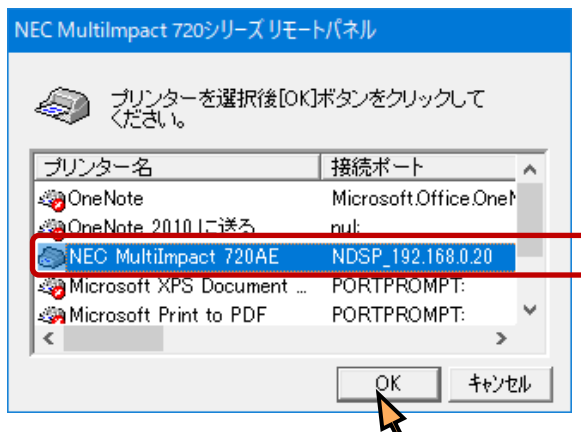
リモートパネルの使い方

リモートパネルの起動

- ① プリンタの電源を ON にします。
- ② スタートメニューから NEC MultiImpact 720 シリーズ リモートパネルを起動します。

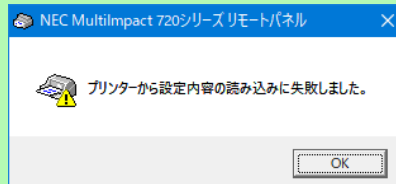
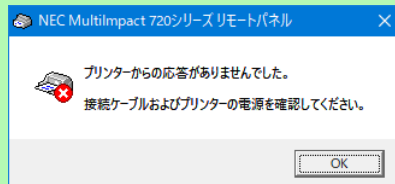


- ③ 接続しているプリンタを選択し、[OK] をクリックします。

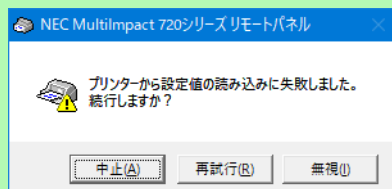


✓ チェック

- ・リモートパネルがご使用いただけないプリンタには、警告マークが付加されて表示されます。警告マークの付いていないプリンタを選択してください。
- ・LAN インタフェースで使用するときは、PR-NP-905 設定ツールで作成した専用ポートで、デフォルトのポート名（NDSP_XXX.XXX.XXX.XXX）としてください。デフォルトのポート名以外に設定されている場合や、Windows Standart TCP/IP ポートでは動作しません。
- ・リモートパネルは、プリンタ装置から設定値を読み込みます。プリンタの電源が入っていないか、接続されていないか、またはプリンタがオフライン（オンラインランプ消灯）になっているときは、エラーメッセージが表示されます。



プログラム起動時にエラーメッセージが表示されたときは、[OK] をクリックし、接続を確認してください。また、下記メッセージが表示されますので、ボタンを選択してください。



[中止(A)] : リモートパネルの起動を中止します。

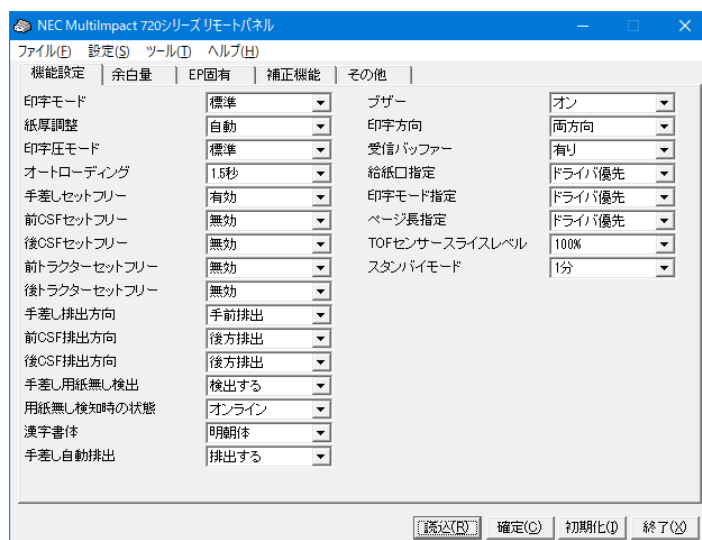
[再試行(R)] : 再度、設定値を読み込みます。

[無視(I)] : 設定値を読み込まずにリモートパネルを起動します。

[無視(I)] を選択したときは、下記画面が表示されますので、使用しているプリンタを選択し [OK] をクリックしてください。

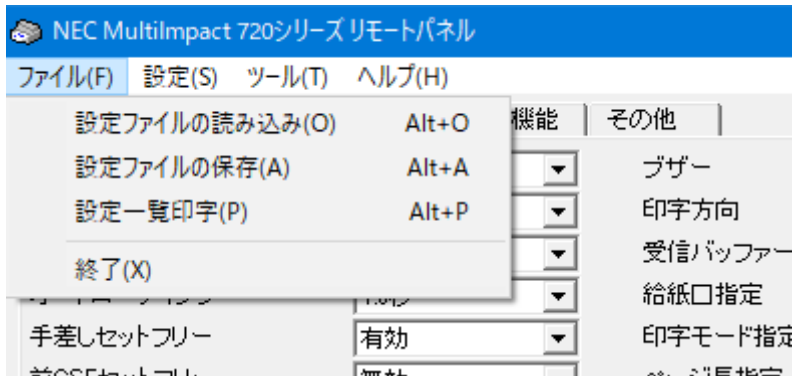


④ リモートパネルの画面が表示されます。



リモートパネルのメニュー／ボタン

・[ファイル] メニュー



設定ファイルの読み込み (O) Alt+O

保存されている設定値ファイルを読み込み、リモートパネル上の各項目の設定値表示を設定値ファイルの内容に更新します。

設定ファイルの保存 (A) Alt+A

リモートパネル上の各項目の設定値表示内容を、設定値ファイルとして保存します。

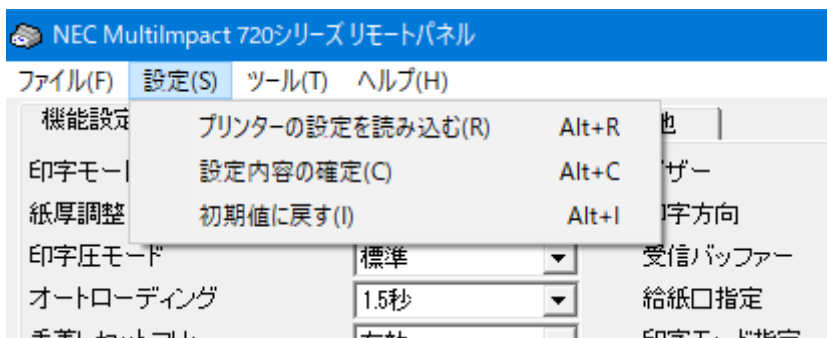
設定一覧印刷 (P) Alt+P

設定内容の一覧を印字します。

終了 (X)

リモートパネルを終了します。

・[設定] メニュー



プリンターの設定を読み込む (R) Alt+R

プリンタ装置から設定値を読み込み、リモートパネル上の各項目の設定値表示をプリンタの設定値に合わせます。

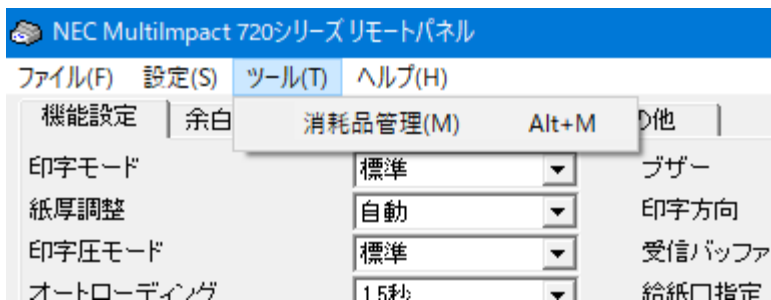
設定内容の確定 (C) Alt+C

リモートパネルで設定した内容をプリンタに送信します。

初期値に戻す (I) Alt+I

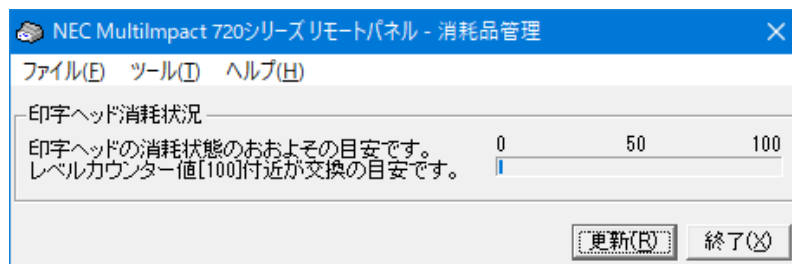
リモートパネル上の設定値表示を工場出荷時の値に戻します。 また、プリンタ装置の設定を初期値にします。

・ [ツール] メニュー

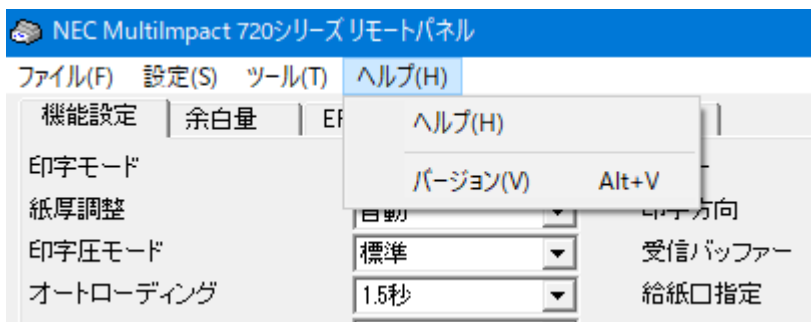


消耗品管理 (M) Alt+M

プリンタ装置から、消耗品使用状況に関する情報を読み込み、消耗品管理ウィンドウを表示します。



・ [ヘルプ] メニュー



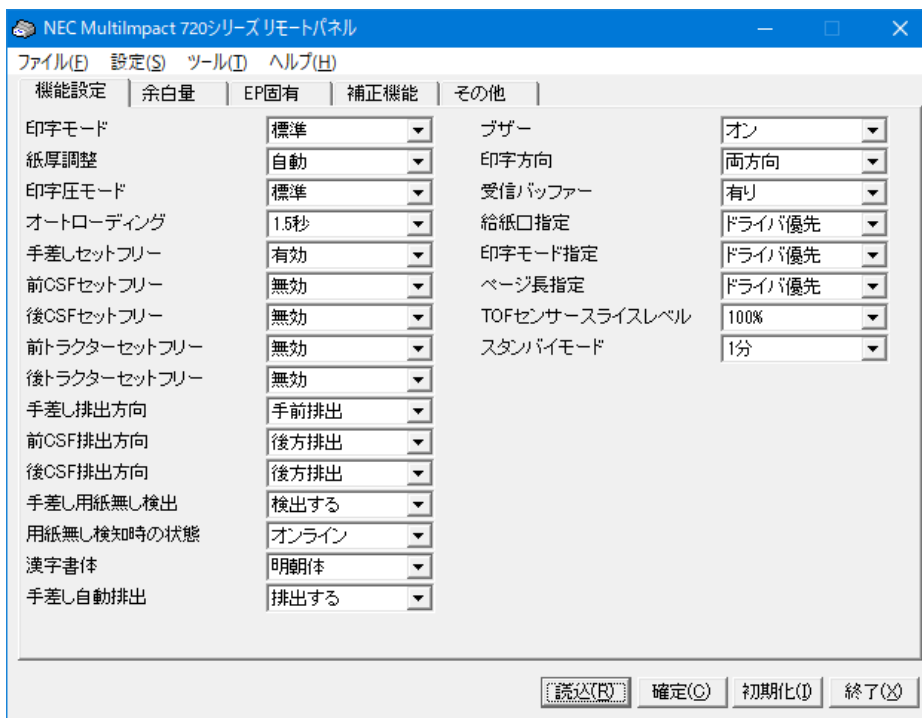
ヘルプ (H)

リモートパネルのヘルプを起動します。

バージョン (V) Alt+V

リモートパネルのソフトウェアバージョンを表示します。

・ボタンの説明



【読み込 (R)】

“設定”メニューの「プリンターの設定を読み込む (R)」と同等

【確定 (C)】

“設定”メニューの「設定内容の確定 (C)」と同等機能です。

【初期化 (I)】

“設定”メニューの「初期値に戻す (I)」と同等機能です。

【終了 (X)】

リモートパネルプログラムを終了します。

リモートパネル設定項目

リモートパネルで設定できる項目は、「機能設定」、「余白量」、「EP 固有」、「補正機能」、「その他」で 5 つのシートに分かれています。それぞれのシートは、タブをクリックして切り替えることができます。



チェック

- ・各シートの設定項目の詳細は、ユーザーズマニュアルまたはリモートパネルのヘルプを参照してください。

・機能設定

〔機能設定〕シートでは、オートローディング（用紙吸入開始時間）や印字方向など、装置機能に関する共通項目の設定を行います。

NEC MultiImpact 720シリーズリモートパネル

ファイル(F) 設定(S) ツール(T) ヘルプ(H)

機能設定 | 余白量 | EP固有 | 補正機能 | その他

印字モード	標準	ブザー	オン
紙厚調整	自動	印字方向	両方向
印字圧モード	標準	受信バッファ	有り
オートローディング	1.5秒	給紙口指定	ドライバ優先
手差しセットフリー	有効	印字モード指定	ドライバ優先
前CSFセットフリー	無効	ページ長指定	ドライバ優先
後CSFセットフリー	無効	TOFセンサースライスレベル	100%
前ラクターセットフリー	無効	スタンバイモード	1分
後ラクターセットフリー	無効		
手差し排出方向	手前排出		
前CSF排出方向	後方排出		
後CSF排出方向	後方排出		
手差し用紙無し検出	検出する		
用紙無し検知時の状態	オンライン		
漢字書体	明朝体		
手差し自動排出	排出する		

読込(R) 確定(C) 初期化(I) 終了(X)

・余白量

〔余白量〕シートでは、余白量に関する項目の設定を行います。

NEC MultiImpact 720シリーズリモートパネル

ファイル(F) 設定(S) ツール(T) ヘルプ(H)

機能設定 | 余白量 | EP固有 | 補正機能 | その他

上端余白量指定: ドライバ優先

上端余白量	
手差し	8.5mm
その他	8.5mm
前CSF	8.5mm
その他	8.5mm
後CSF	8.5mm
その他	8.5mm
前ラクター	8.5mm
その他	8.5mm
後ラクター	8.5mm
その他	8.5mm

下端余白量

前ラクター	4.2mm
後ラクター	4.2mm

セットフリー余白量

手差し	5.1mm
前CSF	5.1mm
後CSF	5.1mm
前ラクター	11.3mm
後ラクター	11.3mm
無効時の左端位置	標準

読込(R) 確定(C) 初期化(I) 終了(X)

・EP 固有

〔EP固有〕シートでは、ESC/Pコマンド固有項目の設定を行います。

NEC MultiImpact 720シリーズリモートパネル

ファイル(F) 設定(S) ツール(T) ヘルプ(H)

機能設定 | 余白量 | EP固有 | 補正機能 | その他

連帳ページ長	66行
連帳ミシン目スキップ	0インチ
オートティアオフ	無効
行間	6LPI
ANK文字間	10CPI
ANK文字品位	LQ
ANK縮小文字	標準
ANKコード表	カタカナコード
ANK書体	クーリエ
ゼロフォント	スラッシュ無し
国際文字	日本
CRコード	CR
SLCTIN	有効
DC1/DC3	無効
SLCT	HIGH固定
TOF位置FFコード	有効

読込(R) 確定(C) 初期化(I) 終了(X)

・補正機能

〔補正機能〕シートでは、改行補正と上端余白量補正、および下端余白量補正項目の設定を行います。

NEC Multimpact 720シリーズリモートパネル

ファイル(F) 設定(S) ツール(T) ヘルプ(H)

機能設定 | 余白量 | EP固有 | **補正機能** | その他

改行補正量

手差し	0mm
前CSF	0mm
後CSF	0mm
前トラクター	0mm
後トラクター	0mm
前トラクター(最終頁)	0mm
後トラクター(最終頁)	0mm

上端余白量調整

手差し	0mm
前CSF	0mm
後CSF	0mm
前トラクター	0mm
後トラクター	0mm

下端余白量調整

単票(手差し・CSF)	0mm
前トラクター	0mm
後トラクター	0mm

読込(R) 確定(C) 初期化(I) 終了(X)

・その他

〔その他〕シートでは、プリンタの制御方法に関する項目の設定を行います。

NEC Multimpact 720シリーズリモートパネル

ファイル(F) 設定(S) ツール(T) ヘルプ(H)

機能設定 | 余白量 | EP固有 | 補正機能 | **その他**

前用紙吸入時のキャリア位置	ポジション1	CSFペン1選択	前CSF
後用紙吸入時のキャリア位置	ポジション1	CSF給紙制御	標準
用紙吸入時の斜行検出	有効	トラクター給紙制御	速度優先
セットフリー斜行しきい値	2.0mm	逆改行抑制制御	有効
手差し斜行しきい値	2.0mm	用紙カット引き戻し制御	速度優先
単票自動オンライン	有効	連帳改行時リボン保護制御	無効
トラクター自動オンライン	有効	CSF紙厚検出	通常
単票モード時のFFコード	排出	ヘッド交換表示	無効
用紙外印字防止	有効	エラー監視機能	有効
用紙幅検出方式	1回検出	電源投入時の用紙位置	現在位置
前トラクター印字カット量 L	14.0mm	上端ヘッド保護制御	有効
前トラクター印字カット量 R	14.0mm		
後トラクター印字カット量 L	14.0mm		
後トラクター印字カット量 R	14.0mm		
単票印字カット量	2.8mm		
改行ジャム検知	有効		

読込(R) 確定(C) 初期化(I) 終了(X)

4

ステータスマニタ

ステータスマニタは、プリンタ装置の状態（ステータス）を、ご使用のコンピュータの画面上に表示するソフトウェアです。

ステータスマニタ起動時は最小化（タスクトレイ内でアイコン表示）されており、印字中にエラーが発生すると、ポップアップ表示（ウィンドウ表示）します。

Windows の印字ジョブがないときは、最小化されているアイコンをポップアップさせたときにプリンタ状態を取得し、表示します。（プリンタの状態が変わっても、ステータスマニタの表示は自動的に更新されません。）

ここでは Windows 10 で MultiImpact 720AEN を例に、ステータスマニタのインストールと使い方について説明します。

✓ チェック

- ・ステータスマニタを動作させるためにはプリンタドライバがインストールされている必要があります。
- ・LAN インタフェースの場合、PR-NP-905 設定ツールで作成した専用ポートに設定してください。
- ・ステータスマニタを使用するときは、本プリンタを「通常使うプリンター」に設定し、プリンタドライバの双方向通信機能を有効に設定してください。
- ・ステータスマニタを使用するときは、プリンタの「エラー監視機能」を「有効」に設定してください。
設定方法は、ユーザーズマニュアルまたは、本書のリモートパネル設定項目の「その他」シートを参照してください。

ステータスマニタのインストール

① コンピュータの電源を ON にし、Windows 10 を起動します。

② ソフトウェア CD-ROM をドライブにセットし、SETUP.EXE を実行します。

「選択して、このディスクに対して行う操作を選んでください。」の画面が表示されます。このメッセージをクリックして表示される画面で、[SETUP.EXE の実行] をクリックします。

画面が表示されないときは、「エクスプローラー」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある SETUP.EXE をダブルクリックしてください。

③ ユーザーアカウント制御ダイアログが表示されます。[はい] をクリックします。

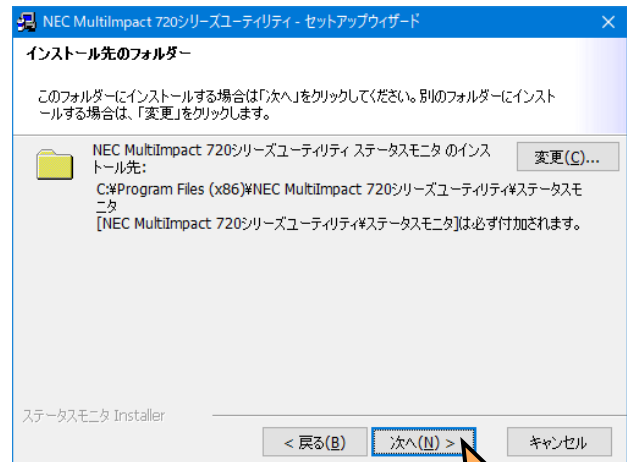
④ [ステータスマニタのインストール] をクリックします。



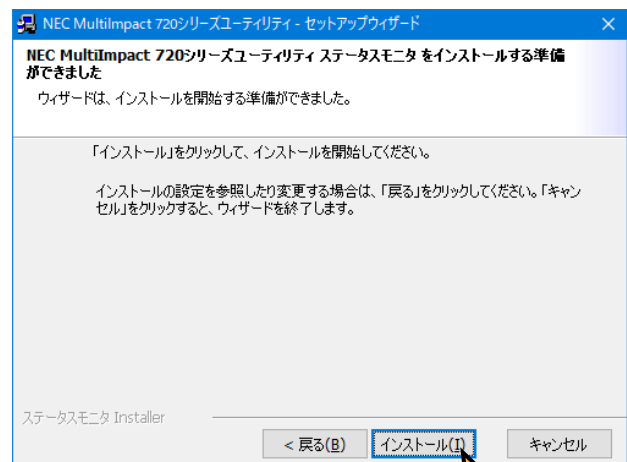
⑤ ステータスマニタのセットアップウィザードが起動します。[次へ] をクリックします。



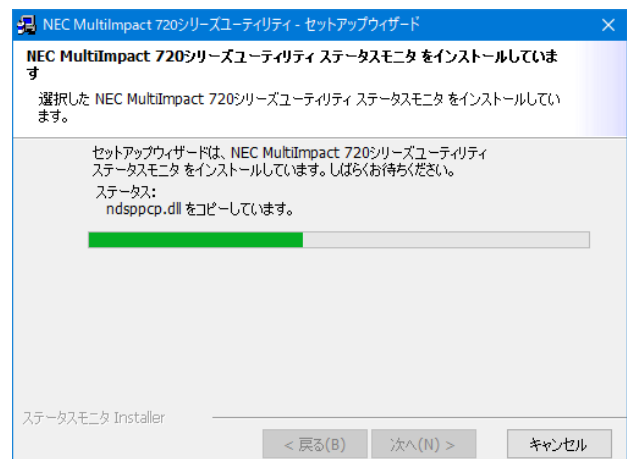
⑥ インストール先のフォルダーを選択し、[次へ] をクリックします。



⑦ 下記画面が表示されます。[インストール] をクリックします。



⑧ インストール中の画面が表示されます。
インストールが完了するまでお待ちください。



⑨ 完了画面が表示されます。[完了]をクリックします。

これで、ステータスモニタのインストールは完了です。



ステータスモニタの使い方

ステータスモニタの起動

ステータスモニタをインストールすると、Windows の「スタートアップ」に登録されます。Windows を起動すると、ステータスモニタは自動的に起動されます。

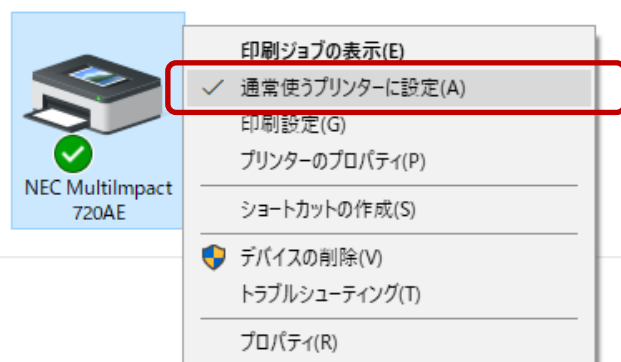
ステータスモニタを終了した状態で印字を実行しても、自動的に起動しません。

① コンピュータの電源を ON にし、Windows 10 を起動します。

② Windows を起動すると、ステータスモニタは自動的に起動され、タスクトレイ内にステータスアイコンが表示されます。

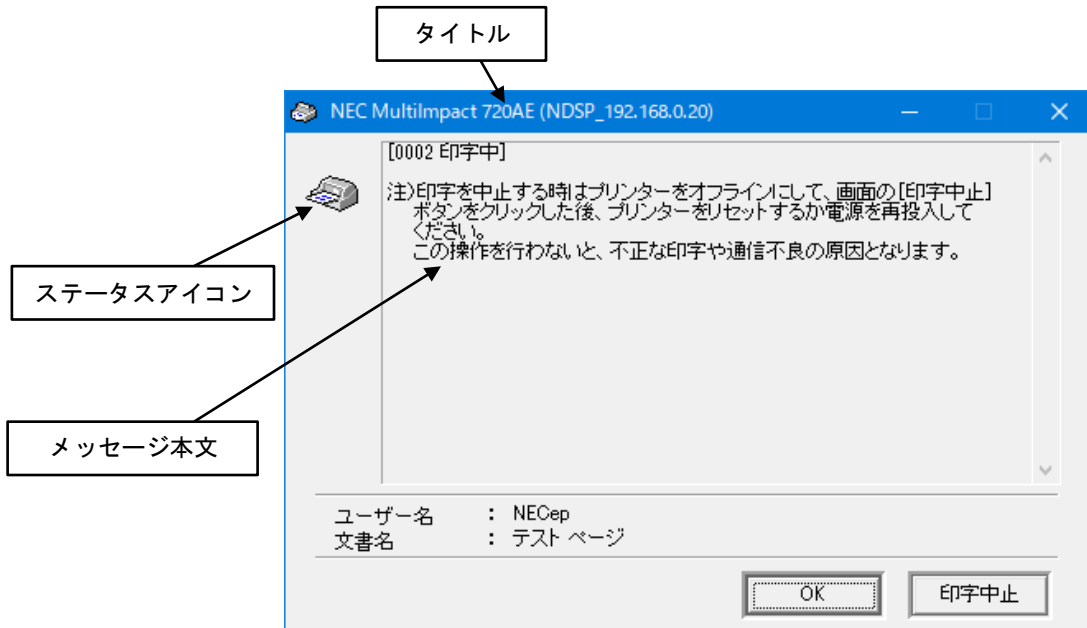







③ 本プリンタを「通常使うプリンター」に設定していない場合は、[コントロールパネル] から [デバイスとプリンター] を開き、本プリンタを [通常使うプリンター] に設定します。



ステータスの表示ウィンドウ

・ポップアップ表示

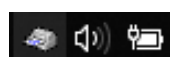


表示項目	内容
タイトル	プリンタ名 (指定されているプリンタポート)
メッセージ本文	[ステータス番号 プリンタ状態名] プリンタ状態の説明と処置方法を表示します。
ステータスアイコン	 印字中、または印字可能状態であることを示します。(エラーなし状態)  印字中、または印字可能状態であることを示します。(ワーニングメッセージ有り)  エラー発生状態であることを示します。(復旧可能なエラー)  エラー発生状態であることを示します。(復旧不可能なエラー)  エラー発生状態であることを示します。(ハードエラー)
ユーザー名	印字要求を行ったユーザー名を表示します。
文書名	印字中の文書名 (印字ジョブ名) を表示します。
[OK] ボタン	[OK] ボタンを押下することにより、本ウィンドウは最小化されタスクトレイ内にアイコンとして格納します。
[印字中止] ボタン	ステータス表示中の印字ジョブの印字を中止する場合に押下します。 [印字中止] ボタンを押下することにより、該当印字ジョブの印字を中止し、本ウィンドウをタスクトレイ内にアイコンとして格納します。






✓ チェック

- ・ステータスモニタを使用しているときに、プリンタエラーによる印字をキャンセルするときはステータスモニタの [印字中止] ボタンをクリックしてください。
ステータスモニタが起動されている状態で、「デバイスとプリンター」フォルダ内のプリンタから印字をキャンセルすると、その後プリンタをリセットしてもデータが削除されず、プリンタが正常に動作しなくなるとき（プリンタの電源再投入で復旧）があります。

・タスクトレイ内アイコン表示



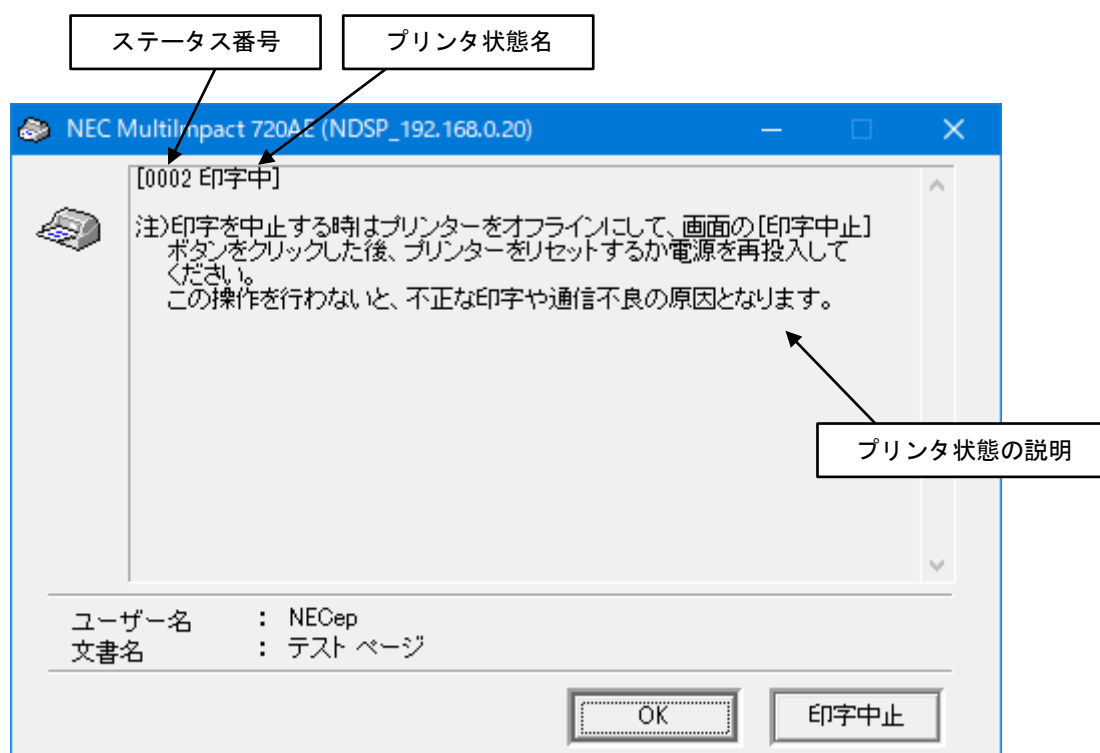
ステータスアイコン

表示項目	内容
ステータスアイコン	 印字中、または印字可能状態であることを示します。(エラーなし状態)  印字中、または印字可能状態であることを示します。(ワーニングメッセージ有り)  エラー発生状態であることを示します。(復旧可能なエラー)  エラー発生状態であることを示します。(復旧不可能なエラー)  エラー発生状態であることを示します。(ハードエラー)
ツールチップ表示	マウスポインタをタスクトレイ内のステータス表示アイコンに合わせることで、ツールチップによる動作概要表示を行います。

・タスクトレイ内アイコンのマウス操作

項目	内容
左ボタン ダブルクリック	ステータス表示をポップアップします。
右ボタン シングルクリック	<p>ポップアップメニューの表示を行います。 メニュー内の選択項目を以下に示します。</p> <p>[元のサイズに戻す (R)] ステータス表示をポップアップします。</p> <p>[印字中止 (C)] ステータス表示中の印字ジョブの印字を中止します。</p> <p>[ステータス表示の終了 (X)] ステータスモニタを終了します。</p>

ステータス状態表示一覧表



ステータス番号	プリンタ状態名	プリンタ状態の説明
0000	印字可能	印字可能です。
0002	印字中	印字中です。
0003	印字中	他のユーザーが使用しています。
0300	オフライン	プリンターがオフラインです。
0301	用紙なし (カットシートフィーダー)	選択されているカットシートフィーダーに用紙がありません。
0302	用紙なし	用紙がありません。
0303	単票抜き取り待ち	排紙した用紙が単票テーブルに残っています。
0305	連帳後退エラー	後退させる用紙が長過ぎます。
0306	用紙吸入エラー	用紙が正しく吸入できませんでした。
0307	吸入ジャム(手差し)	用紙の吸入中に紙づまりが発生しました。
0308	吸入ジャム (カットシートフィーダー)	用紙の吸入中に紙づまりが発生しました。
0309	吸入ジャム (トラクターユニット)	用紙の吸入中に紙づまりが発生しました。
0310	カバーオープン	トップカバーが開いています。
0402	排出ジャム(手差し)	用紙の排出中に紙づまりが発生しました。
0403	排出ジャム (カットシートフィーダー)	用紙の排出中に紙づまりが発生しました。
0404	排出ジャム (トラクターユニット)	用紙の排出中に紙づまりが発生しました。

ステータス番号	プリンタ状態名	プリンタ状態の説明
0406	印字桁ずれ	印字の桁ずれを検出しました。
0407	用紙厚異常	このプリンターで使用できない厚さの用紙に印字しようとしています。
0408	改行ジャム	紙送り中に紙づまりが発生しました。
0409	リボン異常	リボンの異常を検出しました。
0500	通信エラー	プリンターとの通信がエラーとなりました。
0700	ROM/RAM アラーム	ROM/RAM の異常を検出しました。
0701	フレームファンアラーム	フレームファンの異常を検出しました。
0702	斜行ユニットアラーム	斜行ユニットホームポジション検出に失敗しました。
0703	HCPP アラーム	自動用紙搬送切り替え機構のホームポジション検出に失敗しました。
0704	APTC アラーム	印字圧自動調整機構のホームポジション検出に失敗しました。
0705	LRES アラーム	印字キャリアのホームポジション検出に失敗しました。
0706	SP ファンアラーム	SP モーターファンの異常を検出しました。
0707	電源ファンアラーム	電源ファンの異常を検出しました。
0708	CSF モーターアラーム	シートフィーダーのモータードライバの異常を検出しました。
0709	リボンモーターアラーム	リボンモータードライバの異常を検出しました。
0710	OVERLOAD アラーム	電源電圧の異常を検出しました。
0711	LOW VOL アラーム	電源電圧の異常を検出しました。
0712	HIGH VOL アラーム	電源電圧の異常を検出しました。
0713	ヘッドアラーム	印字ヘッドドライバの異常を検出しました。
0714	LF アラーム	LF モーター及びトラクターモータードライバの異常を検出しました。
0715	SP アラーム	スペースモータードライバの異常を検出しました。
1500	応答なし/通信異常	プリンターからの応答がありません。
1520	通信エラー	プリンターとの通信が異常となりました。

5

正しく動作しないときは

この章では、導入時に想定される問題と、その対処方法について説明します。

症状	対処方法
プリンターLAN 設定ツールの検索で、プリンタが見つからない。	<p>→ LAN ボードの L/A (Link/Act) LED (橙) が点灯しているか確認してください。LED が点灯していない場合、プリンタが正しく接続されていない可能性があります。</p> <p>下記内容を確認し、再度設置作業を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. LAN ボードが装着されたプリンタの電源が ON になっていますか？ 2. ネットワークケーブルが正しく接続されていますか？ 3. ネットワークケーブルは断線していませんか？ 4. 稼動しているプリンタと接続されたイーサネットハブ (HUB) の Link LED が点灯していますか？ 5. イーサネットハブ (HUB) のポートが故障していませんか？ <p>LED は点灯しているが、設定ツールの検索でプリンタが見つからない場合は、下記内容を確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ファイアウォールの例外設定に登録しましたか？ 2. 設定ツールの検索では、プリンタと設定を行っているパソコンのネットワーク環境は、同一セグメント内にある必要があります。同一セグメント内にあることを確認してください。 <p>プリンタに設定されている IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイは、LAN ボードの DIP スイッチ 3 を ON にして行う設定印字で確認することができます (23 ページ参照)。用紙をセットして、LAN 設定情報を印字し、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが正しく設定されているか確認してください。</p> <p>正しく設定されていない場合は、LAN ボードの DIP スイッチ 2 を ON にしてプリンタの電源を投入し、LAN の設定を初期化してください (23 ページ参照)。初期化後、プリンタの LAN 設定をやり直してください。</p>
LAN ボードの DIP スイッチ 3 を ON にしても、設定印字が実行されない。	<p>→ プリンタが印刷を行う準備ができていること (用紙がセットされて、オンライン状態になっていること) を確認してください。</p> <p>→ USB インタフェースが接続されている場合、USB ケーブルを外してください。</p>

症状	対処方法
LAN インタフェースで印刷が行えない。	<p>→ プリンタに設定している IP アドレスが他の機器と重なっていないか確認してください。</p> <p>→ 使用しているプリンタドライバのポートの設定ができていない可能性があります。[プリンターのプロパティ] の [ポート] で、「印刷するポート」が正しく設定されているか確認してください。</p> <p>→ LAN ボードの L/A (Link/Act) LED (橙) が点灯しているか確認してください。LED が点灯していない場合、プリンタが正しく接続されていない可能性があります。</p> <p>下記内容を確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. LAN ボードが装着されたプリンタの電源が ON になっていますか？ 2. ネットワークケーブルが正しく接続されていますか？ 3. ネットワークケーブルは断線していませんか？ 4. 稼動しているプリンタと接続されたイーサネットハブ (HUB) の Link LED が点灯していますか？ 5. イーサネットハブ (HUB) のポートが故障していませんか？ 6. プリンタでエラーが発生していませんか？ <p>→ LAN ボードの L/A (Link/Act) LED (橙) が点灯している場合、プリンタに割り当てた IP アドレスに、ping コマンドを使って、応答があるか確認してください。</p> <p>例) Windows 10 で ping コマンドを実行する場合 [スタート] から [Windows システムツール] - [コマンドプロンプト] を右クリックし [管理者として実行] を選択します。 ping XXX.XXX.XXX.XXX を実行すると、下記内容が表示されます。 XXX.XXX.XXX.XXX はプリンタの IP アドレスです。 (ping に応答がある場合) Reply from 123.123.123.123:bytes=32 time=58ms TTL=253 Reply from 123.123.123.123:bytes=32 time=58ms TTL=253 Reply from 123.123.123.123:bytes=32 time=58ms TTL=253 Reply from 123.123.123.123:bytes=32 time=58ms TTL=253 (ping に応答がない場合) Request timed out. Request timed out. Request timed out. Request timed out.</p> <p>ping コマンドによる応答がない場合、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが正しく設定されていない可能性があります。そのときは、LAN ボードの DIP スイッチ 2 を ON にしてプリンタの電源を投入し、LAN の設定を初期化してください (23 ページ参照)。初期化後、プリンタの LAN 設定をやり直してください。</p> <p>→ プリンタの [DHCP] 設定が有効のとき、DHCP サーバからの IP アドレス自動割当てで、プリンタに設定された IP アドレスが、各サーバより書き換えられてしまう場合があります。書き換えられる場合は、プリンタの [DHCP] 設定を無効にし、再度 IP アドレスの設定を行ってください。</p>
LAN インタフェースで印刷中にエラーが発生する。	<p>→ 他のコンピュータから大量に印刷していたり、大きなサイズのデータ (高解像度の画像等) を印刷している時に印刷を行った場合、他のコンピュータからの印刷が終了するまで印刷ができません。長時間待たされた場合、タイムアウトが発生してエラーとなる場合があります。その際は、再度印刷を行ってください。</p>

症状	対処方法
USB インタフェースで印刷が行えない。	<p>→ お使いの環境によっては、選択した USB ポートとプリンタが接続されている USB ポートが異なる場合があります。下記手順でプリンタポートを変更してください。変更し終わったら、テストページの印刷で確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none">1. プリンタフォルダを開きます。2. お使いのプリンタのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選択します。3. プロパティが表示されたら、[ポート] シートをクリックします。4. 「印刷するポート」一覧で、ポートを変更します。 USB ポートは、「USB XXX」（XXX は、001 など 3 桁の数値）で表されています。印字が行えなかったプリンタポートが「USB001」だったときは、「USB002」などに変更してください。5. [適用] をクリックします。6. プリンタの電源を OFF → ON します。7. [全般] シートの [テストページの印刷] をクリックします。